

## 令和 8年度 委託仕様書

委託名	環境分析業務委託
委託箇所	元荒川水循環センター（桶川市小針領家地内） ほか
委託大要	<p>委託期間： 契約日から令和9年3月23日</p> <p>委託内容： 元荒川水循環センター、鴻巣中継ポンプ場及び桶川中継ポンプ場における環境関連法規制に基づく測定または調査等一式</p> <p>(1) 排ガス調査業務： 焼却炉3基各年1回～2回、消化槽N0.1ボイラ・年2回 延べ19検体</p> <p>(2) ダイオキシン類検査業務： 排ガス3検体、ばいじん等5検体、排水3検体</p> <p>(3) 作業環境調査業務： 有機溶剤13検体、粉塵（室内）4検体、粉塵（屋外）5検体、 ダイオキシン類（併行測定）2検体</p> <p>(4) 臭気調査業務： 元荒川水循環センター、中継ポンプ場等、延べ50検体</p> <p>(5) 騒音・振動調査業務： 年2回、敷地境界線2箇所、敷地境界周辺1箇所</p> <p>(6) 消化ガス分析：年2回、9項目</p>

## 本 委 託 費 内 訳 書

工 種 種 別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
元荒川水循環センター 水処理施設 直接委託費					
直接人件費	式	1			A-1
検査費	式	1			A-2
直接経費	式	1			
騒音・振動調査	式	1			
小計					
元荒川水循環センター 汚泥処理施設 直接委託費					
直接人件費	式	1			A-3
検査費	式	1			A-4
直接経費	式	1			
小計					
鴻巣中継ポンプ場 直接委託費					
直接人件費	式	1			A-5
直接経費	式	1			

## 本 委 託 費 内 訳 書

工 種 種 別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
小計					
桶川中継ポンプ場 直接委託費					
直接人件費	式	1			A-6
直接経費	式	1			
小計					
水質調査センター(共通) 直接委託費					
直接人件費	式	1			A-7
検査費	式	1			A-8
直接経費	式	1			
小計					
計(直接委託費)					
元荒川水循環センター 間接費					
水処理施設 技術経費	式	1			
汚泥処理施設 技術経費	式	1			

## 本 委 託 費 内 訳 書

工 種 種 別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
鴻巣中継ポンプ場 技術経費	式	1			
桶川中継ポンプ場 技術経費	式	1			
水質調査センター(共通) 技術経費	式	1			
小計					
元荒川水循環センター 諸経費					
水処理施設 諸経費	式	1			
污泥処理施設 諸経費	式	1			
鴻巣中継ポンプ場 諸経費	式	1			
桶川中継ポンプ場 諸経費	式	1			
水質調査センター(共通) 諸経費	式	1			
小計					
計(間接費)					
本委託費計					





元荒川水循環センター汚泥処理施設 直接人件費 A-3 代価表

工 種 種 別		数 量	単 価	金 額	摘 要
	単位				
排ガス調査業務	式	1			B-5
ダイオキシン類検査業務	式	1			B-6
作業環境調査業務	式	1			B-7
臭気調査業務	式	1			B-8
消化ガス分析	回	2			
計					

## 元荒川水循環センター汚泥処理施設 検査費 A-4 代価表

[illegible]





**桶川中継ポンプ場 直接人件費**

### A-6 代価表

[illegible]

水質調査センター(共通) 直接人件費 A-7 代価表

[illegible]



元荒川水循環センター 作業環境調査 (水処理施設)	B-1 代価表
------------------------------	---------

元荒川水循環センター 作業環境調査 (水処理施設)	B-1 代価表
------------------------------	---------

[illegible]

元荒川水循環センター 臭気調査(水処理施設) B-2 代価表

[illegible]

元荒川水循環センター ダイオキシン類 検査費  
(水処理施設)

### B-3 代価表

[illegible]

元荒川水循環センター 作業環境 検査費  
(水処理施設)

### B-4 代価表

[illegible]



**元荒川水循環センター 排ガス調査業務  
(汚泥処理施設)**

### B-5 代価表

[illegible]

元荒川水循環センター ダイオキシン類試料採取費 B-6 代価表  
(汚泥処理施設)

[illegible]

### B-7 代価表

[illegible]

### B-8 代価表

[illegible]

**元荒川水循環センター 排ガス調査 検査費  
(汚泥処理施設)**

### B-9 代価表

[illegible]

### B-10 代価表

[illegible]

### B-11 代価表

[illegible]

## 鴻巣中継ポンプ場 臭気調査業務

### B-12 代価表

[illegible]



## 桶川中継ポンプ場 臭気調査業務

### B-13 代価表

[illegible]



水質調査センター(共通) 作業環境調査業務  
(検査費)

### B-15 代価表

[illegible]

元荒川水循環センター 消化ガス分析  
検査費(汚泥処理施設)

B-16 代価表

工 種 種 別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
メタン	検体	2			
二酸化炭素	検体	2			
硫化水素	検体	2			
酸素	検体	2			
窒素	検体	2			
水素	検体	2			
アンモニア	検体	2			
シロキサン	検体	2			
低位発熱量	検体	2			
計					

元荒川水循環センター 作業環境デザイン費  
(水処理施設)

### C-1 代価表

[illegible]

### C-2 代価表

[illegible]

元荒川水循環センター 官能試験試料採取費  
(水処理施設)

C-3 代価表

工 種 種 別	数 量	単 価	金 額	摘 要
単位				
ガス流量測定	時間			D-3
試料採取	時間			"
計				

## 元荒川水循環センター 官能試験費 (水処理施設) C-4 代価表

## 元荒川水循環センター 官能試験費 (水処理施設) C-4 代価表

[illegible]



元荒川水循環センター 排ガス基礎調査費  
(汚泥処理施設)

C-5 代価表

工 種 種 別	数 量	単 価	金 額	摘 要
単位				
2号焼却炉	時間			D-5
3号焼却炉	時間			"
4号焼却炉	時間			"
消化槽NO.1ボイラ	時間			"
計				

### C-6 代価表

[illegible]

元荒川水循環センター ダイオキシン類試料採取費  
(汚泥処理施設)

### C-7 代価表

[illegible]

元荒川水循環センター 作業環境デザイン費 C-8 代価表  
(汚泥処理施設)

工 種 種 別	数 量	単 価	金 額	摘 要
単位				
粉塵 室内	時間			D-1
粉塵 室外	時間			"
ダイオキシン類(併行測定)	時間			"
計				

元荒川水循環センター 作業環境試料採取費 C-9 代価表  
(汚泥処理施設)

工 種 種 別	数 量	単 価	金 額	摘 要
単位				
粉塵(室内)	時間			D-2
粉塵(室外)	時間			"
ダイオキシン類(併行測定)	時間			"
計				

元荒川水循環センター 官能試験試料採取費  
(汚泥処理施設)

C-10 代価表

工 種 種 別	数 量	単 価	金 額	摘 要
単位				
ガス流量測定	時間			D-3
試料採取	時間			"
計				

[illegible][illegible][illegible]















### 作業環境デザイン費単価(1時間当たり)

### D-1 代価表

[illegible]

### D-2 代価表

[illegible]

排ガス・ダイオキシン類・臭気共通試料採取費  
(1時間あたり)

### D-3 代価表

[illegible]





排ガス・ダイオキシン類共通基礎調査費  
(1時間あたり)

### D-5 代価表

[illegible]

# 特 記 仕 様 書

委託名 環境分析業務委託

委託箇所 元荒川水循環センター（桶川市小針領家地内）ほか

委託期間 令和8年4月1日 ～ 令和9年3月23日

公益財団法人埼玉県下水道公社

1 適用範囲	この特記仕様書は、本委託に適用し、公益財団法人埼玉県下水道公社業務委託標準仕様書を補足する、必要な事項を定めるものとする。						
2 概要	本委託は、元荒川水循環センター、鴻巣中継ポンプ場、桶川中継ポンプ場における環境関連法規制に基づく調査等を行う業務である。						
3 業務内容	<p>本業務は、次の（１）から（６）に係る計量証明等の発行を行う。</p> <p>（１）排ガス調査 【詳細は別紙１－１のとおり】</p> <p>大気汚染防止法第１６条、同法施行規則第１５条に基づく、ばい煙発生施設のばい煙量またはばい煙濃度等の測定。（焼却炉排ガスは一酸化二窒素、ガス状水銀及び粒子状水銀の測定を含む）</p> <p>（２）ダイオキシン類調査【詳細は別紙１－１、定量下限は別紙１－２のとおり】</p> <p>ダイオキシン類対策特別措置法第２８条、同法施行令第４条に基づく、特定施設からの排ガス、ばいじん、燃えがら、放流水、流入下水及び熊谷幹線第１号下水等に含まれるダイオキシン類の濃度測定。</p> <p>（３）作業環境調査 【詳細は別紙２のとおり】</p> <p>労働安全衛生法第６５条、同法施行令第２１条、有機溶剤中毒予防規則第２８条及び特定化学物質障害予防規則３６条に基づく、有機溶剤ならび特定化学物質を用いて行う試験業務の作業環境測定。</p> <p>また、労働安全衛生規則第５９２条の２、廃棄物焼却施設内作業におけるダイオキシン類ばく露防止対策要綱（平成２６年１月１０日付け基発０１１０第１号）に基づく、元荒川水循環センターにおける廃棄物焼却施設内作業のダイオキシン類（粉塵）作業環境測定。</p> <p>（４）臭気調査 【詳細は別紙３－１及び３－２のとおり】</p> <p>悪臭防止法施行規則第５条に基づく特定悪臭物質の測定。悪臭防止法施行規則第１条に基づく臭気指数の算定及び同規則第６条の２に基づく臭気排出強度の算出及び埼玉県生活環境保全条例施行規則（平成１３年埼玉県規則第１００号）別表第１４の備考３の規定に基づく悪臭の測定方法等。</p> <p>（５）騒音調査 【詳細は別紙４のとおり】</p> <p>JIS Z 8731「環境騒音の表示・測定方法」に準じた騒音の測定。</p> <p>（６）振動調査 【詳細は別紙４のとおり】</p> <p>JIS Z 8735「振動レベル測定方法」に準じた振動の測定。</p> <p>（７）消化ガス組成分析 【詳細は別紙４のとおり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消化設備の性能調査のための測定。</li> <li>・実施時期 ７月・１月に実施</li> </ul>						
4 調査箇所等	<p>調査箇所住所は以下のとおりである。</p> <table border="0"> <tr> <td>（１）元荒川水循環センター</td><td>桶川市小針領家９３９</td></tr> <tr> <td>（２）鴻巣中継ポンプ場</td><td>鴻巣市上谷１８７９－１</td></tr> <tr> <td>（３）桶川中継ポンプ場</td><td>桶川市上日出谷９</td></tr> </table>	（１）元荒川水循環センター	桶川市小針領家９３９	（２）鴻巣中継ポンプ場	鴻巣市上谷１８７９－１	（３）桶川中継ポンプ場	桶川市上日出谷９
（１）元荒川水循環センター	桶川市小針領家９３９						
（２）鴻巣中継ポンプ場	鴻巣市上谷１８７９－１						
（３）桶川中継ポンプ場	桶川市上日出谷９						

5 試料採取	試料採取及び調製は、受託者が行う。ただし、ダイオキシン類調査の元荒川（流入水・放流水）、熊谷幹線 1 号下水および臭気調査の放流水の試料採取は委託者が行う。
6 調査時期 及び調査 頻度	<p>調査時期及び調査頻度は以下のとおりとする。</p> <p>（１）別紙 1 から別紙 4 とする。別紙 3 の臭気調査の試料採取については、複数日の採取を可能とする。</p> <p>（２）業務内容によっては、土曜、日曜、祝日ならび夜間、早朝等に調査を実施することがある。</p> <p>（３）調査頻度は増減することがある。</p>
7 再調査	施設の故障、天候の急変等の不測の事態により、測定結果への重大な影響の発生または、業務の安全確保が困難である場合は、契約額の中で再調査を実施する。
8 ダイオキ シン類調 査等の再 委託	<p>大気中のダイオキシン類の濃度、水又は土壌中のダイオキシン類の濃度に係る特定計量証明事業者（MLAP）認定及び特定計量証明事業所登録を有しない場合は、ダイオキシン類測定を再委託可能とする。再委託者は、上記の特定濃度に係る認定及び登録があり、計量証明を事業としている部門を有するものとする。また、消化ガス分析についても再委託可能とし、再委託者は、計量証明を事業としている部門を有するものとする。</p> <p>業務遂行にあたっては、再委託者の事業規定に沿って行うこととする。</p>
9 結果の提 出期限お よび提出 方法	<p>ダイオキシン類調査結果は、試料の受渡し日（受託者が採取した場合は採取日）から起算して 4 5 日以内とする。ただし、4 5 日目が次の日に当たる場合は、これ以降の最初の公社業務日とする。</p> <p>（１）土曜、日曜</p> <p>（２）国民の祝日に関する法律に規定する休日</p> <p>（３）1 2 月 2 9 ～ 3 1 日</p> <p>また、3 業務内容（２）「ダイオキシン類調査」は、別紙 1－3、1－4 に示す書面の他に同書式での電子データ（MS-Excel 形式）も併せて提出する。</p> <p>その他、当該委託期間内に実施した調査結果について、個別報告書とは別に当方の指定する様式でまとめて提出する。</p>
10 速 報	結果が関連法規制の基準を満足しない場合、報告書によらず速報する。
11 損害賠償	受託者の責に帰すべき理由により当社または第三者に損害を与えた場合、受託者がその損害を賠償するものとする。
12 安全管 理及び注 意事項	<p>受託者は、委託業務履行にあたり、次の事項に注意しなければならない。</p> <p>（１）労働安全衛生法の定めを遵守すること。</p> <p>（２）管理施設内の作業に当っては、回転機器、過熱機器の位置および</p>

特性を理解し、事故の発生を未然に防止すること。

(3) 外部との連絡が遮断される作業場については、一名での作業を行わないこと。

13 環境配慮  
への取組  
み

環境負荷の低減や汚染・事故の防止、環境管理体制の確立を図るとともに、地域住民への信頼性の向上を図ることを目的として、公益財団法人埼玉県下水道公社が行う環境に配慮した活動に積極的に協力すること。

14 成果品の  
電子納品につ  
いて

受注者は、公益財団法人埼玉県下水道公社委託標準仕様書の提出書類一覧表に定める報告書、写真等を可能な限り電子データ（PDF 形式）で提出すること。また、電子データで提出した場合は、紙面での提出は不要とする。

15 その他

この特記仕様書に定めのない事項については、必要に応じて委託者、受託者が協議して定めるものとする。

1. 排ガス調査、ダイオキシン類検査業務内容

(1) 焼却炉・消化槽NO.1ボイラの概況

測定箇所	設置年月 (使用開始年月)	能力 (t/d)	ガス量(乾き) 最大m3N/h	排出口  高さ(m)	測定口	
					高さ(m)	口径(m)
2号焼却炉	平成4年10月	53t/d	8,450	30	20	2
3号焼却炉	平成16年1月	100t/d	31,200	25	20	1
4号焼却炉	令和8年10月	60t/d		25	20	0.9
消化槽NO.1ボイラ	(平成30年5月)	－	－	15	1.95	0.4

(2) 調査時期

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2号炉 排ガス	ばいじん					○						○	
	塩化水素					○						○	
	水銀(粒子状)					○						○	
	水銀(ガス状)					○						○	
	ダイオキシン類					○							
3号炉 排ガス	ばいじん		○										
	一酸化二窒素		○										
	水銀(粒子状)		○										
	水銀(ガス状)		○										
	ダイオキシン類		○										
4号炉 排ガス	ばいじん							○					
	水銀(粒子状)							○					
	水銀(ガス状)							○					
	ダイオキシン類							○					
消化槽NO.1ボイラ 排ガス	ばいじん					○						○	
	窒素酸化物					○						○	
2号炉ばいじん	ダイオキシン類					○							
3号炉ばいじん	ダイオキシン類		○										
3号炉 もえがら	ダイオキシン類		○										
4号炉ばいじん	ダイオキシン類								○				
4号炉 もえがら	ダイオキシン類								○				
元荒川(流入水)	ダイオキシン類			○									
元荒川(放流水)	ダイオキシン類			○									
熊谷幹線1号下水	ダイオキシン類			○									

(3) 測定方法

測定項目	測定方法
ばいじん量	大気汚染防止法施行規則別表第2の備考1に掲げる方法
塩化水素(HCL)	大気汚染防止法施行規則別表第3の備考1に掲げる方法
窒素酸化物(NOX)	大気汚染防止法施行規則別表第3の2備考1に掲げる方法
一酸化二窒素(N <sub>2</sub> O)	定量下限値「10ppm」を確保できる方法
水銀(ガス状・粒子状)	水銀大気排出実態調査のための水銀測定方法(平成27年4月6日 環境省)
ダイオキシン類(気体試料)	JIS K0311「排ガス中のダイオキシン類及びコプラナーPCBの測定方法」
ダイオキシン類(排水試料)	JIS K0312「工業用水・工場排水中のダイオキシン類及びコプラナーPCBの測定方法」
ダイオキシン類(ばいじん、燃えがら)	厚生省告示第192号「特別管理一般廃棄物及び特別管理産業廃棄物に係る基準の検定方法」

## ダイオキシン類の定量下限及び検出下限

対象試料		ばい煙 (基準値0.1ng/N-m3用)		ばい煙 (基準値1及び5ng/N-m3用)		排水水		ばいじん(燃えがら)	
		定量下限	検出下限	定量下限	検出下限	定量下限	検出下限	定量下限	検出下限
		単位	ng/N-m <sup>3</sup>	ng/N-m <sup>3</sup>	ng/N-m <sup>3</sup>	ng/N-m <sup>3</sup>	pg/l	pg/l	ng/g
ポリ塩化ジベンゾフラン	2,3,7,8-TeCDF	0.001	0.0005	0.003	0.001	0.1	0.05	0.007	0.002
	1,2,3,7,8-PeCDF	0.001	0.0005	0.003	0.001	0.1	0.05	0.007	0.002
	2,3,4,7,8-PeCDF	0.001	0.0005	0.003	0.001	0.1	0.05	0.007	0.002
	1,2,3,4,7,8-HxCDF	0.003	0.001	0.005	0.002	0.3	0.1	0.02	0.007
	1,2,3,6,7,8-HxCDF	0.003	0.001	0.005	0.002	0.3	0.1	0.02	0.007
	1,2,3,7,8,9-HxCDF	0.003	0.001	0.005	0.002	0.3	0.1	0.02	0.007
	2,3,4,6,7,8-HxCDF	0.003	0.001	0.005	0.002	0.3	0.1	0.02	0.007
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDF	0.003	0.001	0.005	0.002	0.3	0.1	0.02	0.007
	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF	0.003	0.001	0.005	0.002	0.3	0.1	0.02	0.007
	OCDF	0.005	0.002	0.01	0.003	0.5	0.2	0.03	0.01
ポリ塩化ジベンゾパラジオキシン	2,3,7,8-TeCDD	0.001	0.0005	0.003	0.001	0.1	0.05	0.007	0.002
	1,2,3,7,8-PeCDD	0.001	0.0005	0.003	0.001	0.1	0.05	0.007	0.002
	1,2,3,4,7,8-HxCDD	0.003	0.001	0.005	0.002	0.3	0.1	0.02	0.007
	1,2,3,6,7,8-HxCDD	0.003	0.001	0.005	0.002	0.3	0.1	0.02	0.007
	1,2,3,7,8,9-HxCDD	0.003	0.001	0.005	0.002	0.3	0.1	0.02	0.007
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD	0.003	0.001	0.005	0.002	0.3	0.1	0.02	0.007
	OCDD	0.005	0.002	0.01	0.003	0.5	0.2	0.03	0.01
コプラナーポリ塩化ビフェニル	3,4,4',5-TeCB(#81)	0.003	0.001	0.005	0.002	0.3	0.1	0.02	0.007
	3,3',4,4'-TeCB(#77)	0.003	0.001	0.005	0.002	0.3	0.1	0.02	0.007
	3,3'4,4',5-PeCB(#126)	0.003	0.001	0.005	0.002	0.3	0.1	0.02	0.007
	3,3'4,4',5,5'-HxCB(#169)	0.003	0.001	0.005	0.002	0.3	0.1	0.02	0.007
	2',3,4,4',5-PeCB(#123)	0.003	0.001	0.005	0.002	0.3	0.1	0.02	0.007
	2,3',4,4',5-PeCB(#118)	0.003	0.001	0.005	0.002	0.3	0.1	0.02	0.007
	2,3,3',4,4'-PeCB(#105)	0.003	0.001	0.005	0.002	0.3	0.1	0.02	0.007
	2,3,4,4',5-PeCB(#114)	0.003	0.001	0.005	0.002	0.3	0.1	0.02	0.007
	2,3',4,4',5,5'HxCB(#167)	0.003	0.001	0.005	0.002	0.3	0.1	0.02	0.007
	2,3,3',4,4',5-HxCB(#156)	0.003	0.001	0.005	0.002	0.3	0.1	0.02	0.007
	2,3,3',4,4',5'-HxCB(#157)	0.003	0.001	0.005	0.002	0.3	0.1	0.02	0.007
	2,3,3',4,4',5,5'-HpCB(#189)	0.003	0.001	0.005	0.002	0.3	0.1	0.02	0.007



## 様式第6（第8条関係）

## ダイオキシン類測定結果報告書

年 月 日

(宛先)

埼玉県知事

報告者

(氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の氏名)

ダイオキシン類による汚染の状況について測定したので、ダイオキシン類対策特別措置法第 28 条第3項の規定により、次のとおり報告します。

事業所住所	
事業所名	

表1 排出ガス

整理番号	採取年月日 及び時刻 (開始時刻～終了時刻)	排出ガス量 上…m <sup>3</sup> /日 下…m <sup>3</sup> /h	排出ガス 中の酸素 濃度(%)	測定箇所	特定施設の名称 及び使用状況	分析年月日	測定結果 (ng-TEQ/m <sup>3</sup> )	試料採取者	分析者	備考

表2 排水水

整理番号	採取年月日 及び時刻	測定場所		特定施設の名称 及び使用状況	分析年月日	測定結果 (pg-TEQ/L)	採水者	分析者	備考
		名称	排水量 (m <sup>3</sup> /日)						

表3 ばいじん等

整理番号	採取年月日 及び時刻	試料の種別	採取箇所	特定施設の名称 及び使用状況	分析年月日	測定結果 (ng-TEQ/g)	試料採取者	分析者	備考

- 備考
- 1 報告書及び別紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
  - 2 ダイオキシン類対策特別措置法施行規則（以下「規則」という。）第3条第1項に基づき換算した測定結果については、別紙1を添付するものとする。
  - 3 規則第3条第2項に基づき換算した測定結果については、別紙2を添付するものとする。
  - 4 2以上の測定結果がある場合は、添付する別紙1又は2のそれぞれとの対応関係がわかるように備考欄に記載すること。
  - 5 排出ガスにあっては表1、排水水にあっては表2、ばいじん及び焼却灰その他の燃え殻（以下「ばいじん等」という。）にあっては表3に記載すること。なお、同一届出者が大気基準適用施設及び水質基準対象施設をとともに設置している場合には、併せて1葉の様式に記載すること。
  - 6 排出ガス量については、温度が零度であって圧力が1気圧の状態（以下「標準状態」という。）における量に、測定結果については、標準状態における排出ガス1立方メートル中の量に、それぞれ換算したものとする。
  - 7 2以上の水質基準対象施設を設置し、異なる排水系統を有する水質基準適用事業場にあつては、それぞれの排水系統の排水口ごとに測定を行い、結果を記載すること。
  - 8 表3の試料の種別として、ばいじん、焼却灰、混合灰又はこれらの処理物（処理方法）の別を記載すること。

## 別紙 1

## 規則第3条第1項に基づき換算したダイオキシン類の構成

整 理 番 号		実測濃度	試料における 定量下限	試料における 検出下限	毒性等価係数	毒性等量
ポリ塩化ジベンゾフラン	2, 3, 7, 8—TeCDF				0.1	
	1, 2, 3, 7, 8—PeCDF				0.03	
	2, 3, 4, 7, 8—PeCDF				0.3	
	1, 2, 3, 4, 7, 8—HxCDF				0.1	
	1, 2, 3, 6, 7, 8—HxCDF				0.1	
	1, 2, 3, 7, 8, 9—HxCDF				0.1	
	2, 3, 4, 6, 7, 8—HxCDF				0.1	
	1, 2, 3, 4, 6, 7, 8—HpCDF				0.01	
	1, 2, 3, 4, 7, 8, 9—HpCDF				0.01	
	OCDF				0.0003	
Total PCDFs		—	—	—	—	
ポリ塩化ジベンゾパラジオキシン	2, 3, 7, 8—TeCDD				1	
	1, 2, 3, 7, 8—PeCDD				1	
	1, 2, 3, 4, 7, 8—HxCDD				0.1	
	1, 2, 3, 6, 7, 8—HxCDD				0.1	
	1, 2, 3, 7, 8, 9—HxCDD				0.1	
	1, 2, 3, 4, 6, 7, 8—HpCDD				0.01	
	OCDD				0.0003	
	Total PCDDs	—	—	—	—	
Total (PCDFs+PCDDs)		—	—	—	—	
コプラナーポリ塩化ビフェニル	3, 4, 4', 5—TeCB (#81)				0.0003	
	3, 3', 4, 4' —TeCB (#77)				0.0001	
	3, 3', 4, 4', 5—PeCB (#126)				0.1	
	3, 3', 4, 4', 5, 5' —HxCB (#169)				0.03	
	2', 3, 4, 4', 5—PeCB (#123)				0.00003	
	2, 3', 4, 4', 5—PeCB (#118)				0.00003	
	2, 3, 3', 4, 4' —PeCB (#105)				0.00003	
	2, 3, 4, 4', 5—PeCB (#114)				0.00003	
	2, 3', 4, 4', 5, 5' —HxCB (#167)				0.00003	
	2, 3, 3', 4, 4', 5—HxCB (#156)				0.00003	
	2, 3, 3', 4, 4', 5' —HxCB (#157)				0.00003	
	2, 3, 3', 4, 4', 5, 5' —HpCB (#189)				0.00003	
Total コプラナーPCB		—	—	—	—	
Total ダイオキシン類		—	—	—	—	
備考						

- 備考 1 排出ガスの測定結果を記入する場合には、単位を $\text{ng}/\text{m}^3$ （毒性等量にあつては、 $\text{ng-TEQ}/\text{m}^3$ 。）、排出水の測定結果を記入する場合には、単位を $\text{pg}/\text{L}$ （毒性等量にあつては、 $\text{pg-TEQ}/\text{L}$ 。）とし、ばいじん等の測定結果を記入する場合には、単位を $\text{ng}/\text{g}$ （毒性等量にあつては、 $\text{ng-TEQ}/\text{g}$ 。）とする。
- 2 実測濃度の項において、検出下限以上定量下限未満の濃度は括弧付きの数字で記載すること。
- 3 実測濃度の項において、検出下限未満のものは“ND”と記載すること。
- 4 毒性等量は、定量下限未満の実測濃度を零として算出すること。
- 5 規則第2条第1項第4号の規定に基づき環境大臣が定める方法により測定を行った場合は、備考欄に測定に用いた方法を記載すること。
- 6 用語の定義は、日本産業規格K0311、K0312又は規則第2条第1項第4号の規定に基づき環境大臣が定める方法によること。
- 7 整理番号は、測定結果が複数の場合に記入すること。

2. 作業環境調査業務内容

(1)有機溶剤

作業場	対象物質	対象作業	作業場の形態	作業所の 広さ(㎡)	実 施 時 期											
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
元荒川水循環センター (水質試験室)	トルエン	陰イオン界面活性剤(抽出)	屋内	40									○			
	アセトン	ふっ素分析(発色)	屋内	40			○						○			
	ヘキサン	PCB(抽出)	屋内	40			○						○			
	ベンゼン	アルキル水銀(抽出)	屋内	40			○						○			
	酢酸エチル	有機りん(抽出)	屋内	40			○						○			
	N,N-ジメチルホルムアミド	シアン分析(発色)	屋内	40			○						○			
	メタノール	VOC分析(標準液調整)	屋内	40			○						○			

(2) ダイオキシン類(粉塵測定)

作業場所	対象作業	作業場の形態	作業場 広さ (㎡)	D値	[参考]D値決定時のガス体 ダイオキシン 類濃度 (pgTEQ/㎡³)	前回の 管理区分	実 施 時 期											
							4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2号焼却炉	炉内作業	屋内	7	0.00219	0.043	1								○				
	砂出し作業	屋内	80	0.00143	0.042	1								○				
1,2号焼却炉	集塵機内※1	屋内	6	0.00418	0.097	1								○				
	灰出し作業	屋外	77	0.00175	0.062	1					○					○		
	炉周辺	屋外	52	0.00522	0.070	1					○					○		
3号焼却炉	灰出し作業	屋内	43	0.000417	0.048	1		○										
	炉周辺	屋外	95	0.00234	0.052	1		○										
4号焼却炉	灰出し作業	屋内											○	}	※2			
	炉周辺	屋内											○					

※1 この箇所の環境分析を実施する際には、実修繕環境同様湿式条件下にて作業環境測定を行うものとする。

※2 併行測定を実施する。

(3) 測定方法

測定項目	測定方法
有機溶剤	作業環境測定基準に定める測定方法
ダイオキシン類(粉塵)	「廃棄物焼却施設内作業におけるダイオキシン類ばく露防止対策要綱」に定める測定方法
ダイオキシン類(気体試料)	JIS K0311「排ガス中のダイオキシン類の測定方法」

本業務は、労働安全衛生法第65条及び有機溶剤中毒予防規則第28条等に基づく水質試験の有機溶剤作業。及び「廃棄物焼却施設内作業におけるダイオキシン類ばく露防止対策要綱」(平成13年4月25日 基発第401号の2)に基づく作業環境の調査である。

## 3. 臭気調査業務内容

## (1) 測定箇所、仕様等(元荒川水循環センター)

	測定箇所		状況	地域と区分 ※1	1号基準 ※2	排出口の 高さ(m)	排出口の 口径(m)※3	排出口の 向き※4	敷地境界ま での最短距 離(m)	周辺最大建 物	周辺最大 建物の高 さ(m)	周辺最大建 物と敷地境界 の最短距離 (m)
1	沈砂池	沈砂池活性炭吸着塔出口	排出口	桶川市 B	18	16	0.99	横向き	99	管理本館	27.8	72
2	水処理施設	1系水処理 脱臭出口	排出口	桶川市 B	18	<15(2.9)	0.90	横向き	75	管理本館	27.8	72
3		2系水処理 脱臭出口	排出口	桶川市 B	18	<15(2.9)	0.90	横向き	117	管理本館	27.8	72
4		5系水処理 脱臭出口	排出口	桶川市 B	18	<15(3.0)	0.85	横向き	78	管理本館	27.8	72
5		6系水処理 脱臭出口	排出口	桶川市 B	18	<15(3.0)	1.02	横向き	76	管理本館	27.8	72
6		雨水滞水池脱臭	排出口	桶川市 B	18	<15(3.0)	0.51	下向き	115	管理本館	27.8	72
7	汚泥処理施設	汚泥棟脱臭出口	排出口	桶川市 B	18	<15(11.7)	0.54	横向き	38	3号焼却炉	20	25
8		1・2号焼却炉	排出口	桶川市 B	18	30.2	Φ2.0	上向き	10	汚泥棟	11.2	50
9		3号焼却炉	排出口	桶川市 B	18	25.4	Φ1.0	上向き	32	汚泥棟	11.2	50
10		4号焼却炉※6	排出口	桶川市 B	18	25.4	Φ0.9	上向き		汚泥棟	11.2	
11	敷地境界※5	敷地境界A1(風下)	平地		18							
12		敷地境界A2(風下)	平地		18							
13		敷地境界A3(風下)	平地		18							
14		敷地境界B(風上)	平地		18							
15	排水水	放流水	排水水		18							
16	上部利用	敷地境界(汚泥棟側)	平地		18							
17		敷地境界(3号焼却炉側)	平地		18							
18		敷地境界(1系脱臭出口付近)	平地		18							
19		敷地境界(2系脱臭出口付近)	平地		18							

## (2) 測定箇所、仕様等(鴻巣中継ポンプ場)

	測定箇所		状況	地域と区分 ※1	1号基準 ※2	排出口の 高さ(m)	排出口の 口径(m)※3	排出口の 向き※4	敷地境界ま での最短距 離(m)	周辺最大建 物	周辺最大 建物の高 さ(m)	周辺最大建 物と敷地境界 の最短距離 (m)
1	沈砂池	活性炭吸着塔出口	排出口	鴻巣市 C	18	<15(14.5)	0.71	横向き	12	ポンプ棟	19.3	7.7
2	敷地境界※5	敷地境界A1(風下)	平地		18							
3		敷地境界A2(風下)	平地		18							
4		敷地境界A3(風下)	平地		18							

## (3) 測定箇所、仕様等(桶川中継ポンプ場)

	測定箇所		状況	地域と区分 ※1	1号基準 ※2	排出口の 高さ(m)	排出口の 口径(m)※3	排出口の 向き※4	敷地境界ま での最短距 離(m)	周辺最大建 物	周辺最大 建物の高 さ(m)	周辺最大建 物と敷地境界 の最短距離 (m)
1	沈砂池	活性炭吸着塔出口	排出口	桶川市 B	18	<15(9.0)	Φ0.3	横向き	7.4	ポンプ棟	13.1	4.5
2	敷地境界※5	敷地境界A1(風下)	平地		18							
3		敷地境界A2(風下)	平地		18							
4		敷地境界A3(風下)	平地		18							

※1 A区域[B・C区域以外の区域]、B区域[農業振興地域]、C区域[工業地域・工業専用地域]

※2 敷地境界の臭気指数基準

※3 角型の場合 口径 $=2 \times \sqrt{L \times W \div 3.14}$ 

※4 [上向き][下向き][横向き][陣笠][H型]等…上向き以外は運動量上昇は見込まない

※5 敷地境界線の測定箇所 : (A点)調査時の風下で、最も臭気の感じる箇所 (B,C点)A点を挟み境界線沿いに30~100m離れた地点

※6 令和8年10月引き渡し予定

## 別紙3-2

## (4) 測定項目、実施時期等(元荒川水循環センター)

			第1回(6-8月)		第2回(10-2月)	
			流量測定	三点比較式臭袋法	流量測定	三点比較式臭袋法
1	沈砂池	沈砂池活性炭吸着塔出口	○	○	○	○
2	水処理施設	1系水処理 脱臭出口	-	○	-	○
3		2系水処理 脱臭出口	-	○	-	○
4		5系水処理 脱臭出口	-	○	-	○
5		6系水処理 脱臭出口	-	○	-	○
6		雨水滯水池 脱臭出口※1	-	○	-	-
7	汚泥処理施設	汚泥棟脱臭出口	-	○	-	○
8		1・2号焼却炉※1	○	○	○	○
9		3号焼却炉	○	○	-	-
10		4号焼却炉	-	-	○	○
11	敷地境線	敷地境界A1(風下)	-	○	-	○
12		敷地境界A2(風下)	-	○	-	○
13		敷地境界A3(風下)	-	○	-	○
14		敷地境界B(風上)	-	○	-	○
15	排水水	放流水	-	○	-	-
16	上部利用	敷地境界(汚泥棟側)	-	○	-	○
17		敷地境界(3号焼却炉側)	-	○	-	○
18		敷地境界(1系脱臭出口付近)	-	○	-	○
19		敷地境界(2系脱臭出口付近)	-	○	-	○

※1:稼働時に測定

## (5) 測定項目、実施時期等(鴻巣中継ポンプ場)

			第1回(6-8月)		第2回(10-2月)	
			流量測定	三点比較式臭袋法	流量測定	三点比較式臭袋法
20	沈砂池	活性炭吸着塔出口	-	○	-	○
21	敷地境界	敷地境界A1(風下)	-	○	-	○
22		敷地境界A2(風下)	-	○	-	○
23		敷地境界A3(風下)	-	○	-	○

## (6) 測定項目、実施時期等(桶川中継ポンプ場)

			第1回(6-8月)		第2回(10-2月)	
			流量測定	三点比較式臭袋法	流量測定	三点比較式臭袋法
24	沈砂池	活性炭吸着塔出口	-	○	-	○
25	敷地境界	敷地境界A1(風下)	-	○	-	○
26		敷地境界A2(風下)	-	○	-	○
27		敷地境界A3(風下)	-	○	-	○

## (7) 測定方法

- ・気体試料: 三点比較式臭袋法
- ・液体試料: 三点比較式フラスコ法

別紙4

4. 騒音・振動調査内容

(1)実施回数及び実施時期等

	予定期間 (4-7月)	予定期間 (11-2月)	測定時間帯の目安
敷地境界-1	○	○	①AM 2:00-3:00 ②AM 3:00-4:00 ③AM 4:00-5:00
敷地境界-2	○	○	①AM 2:00-3:00 ②AM 3:00-4:00 ③AM 4:00-5:00
周辺(敷地境界点の延長)	○	○	①AM 2:00-3:00 ②AM 3:00-4:00 ③AM 4:00-5:00

設備故障、天候不良等により、測定が完了できない場合は再測定とする。

(2)測定方法

項目	方法
騒音	JIS Z 8731 環境騒音の表示・測定方法に準じる
振動	JIS Z 8735 騒音レベル測定方法に準じる

5. 消化ガス分析内容

(1)実施回数及び実施時期等

	測定時期	測定口
消化ガス分析	7月と1月	測定口:高さ 1.65m、口径 0.02m(円形)

(2)測定方法

項目	方法
メタン	下水試験方法(上巻)2012年版 第5章 下水ガス試験 第2節消化ガスに掲げる方法
炭酸ガス	下水試験方法(上巻)2012年版 第5章 下水ガス試験 第2節消化ガスに掲げる方法
硫化水素	下水試験方法(上巻)2012年版 第5章 下水ガス試験 第3節硫化水素1～3に掲げる方法
酸素	下水試験方法(上巻)2012年版 第5章 下水ガス試験 第2節消化ガスに掲げる方法
窒素	下水試験方法(上巻)2012年版 第5章 下水ガス試験 第2節消化ガスに掲げる方法
水素	下水試験方法(上巻)2012年版 第5章 下水ガス試験 第2節消化ガスに掲げる方法
アンモニア	JIS K0099「排ガス中のアンモニア分析方法」
シロキサン	下水試験方法(上巻)2012年版 第5章 下水ガス試験 参考 シロキサンに掲げる方法
低位発熱量	計算による算出方法

## 図面目次

図番	図 面 名
1 / 28	元荒川水循環センター平面図
2 / 28	1,2号焼却炉立面図
3 / 28	3号焼却炉立面図
4 / 28	1,2号焼却炉平面図
5 / 28	1,2号焼却炉灰ホツパ外形図
6 / 28	1,2号焼却炉電気集塵機外形図
7 / 28	3号焼却炉平面図
8 / 28	3号焼却炉外形図
9 / 28	3号焼却炉断面図
10 / 28	3号焼却炉灰ホツパ外形図
11 / 28	管理本館2階 理化学試験室概略図
12 / 28	元荒川水循環センター 沈砂池活性炭脱臭設備
13 / 28	元荒川水循環センター 1系水処理脱臭設備
14 / 28	元荒川水循環センター 2系水処理脱臭設備
15 / 28	元荒川水循環センター 5系水処理脱臭設備
16 / 28	元荒川水循環センター 6系水処理脱臭設備
17 / 28	元荒川水循環センター 雨水滯水池平面図
18 / 28	元荒川水循環センター 雨水滯水池脱臭設備
19 / 28	元荒川水循環センター 汚泥棟脱臭設備
20 / 28	鴻巣中継ポンプ場平面図
21 / 28	鴻巣中継ポンプ場沈砂池平面図
22 / 28	鴻巣中継ポンプ場 沈砂池脱臭設備
23 / 28	桶川中継ポンプ場平面図
24 / 28	桶川中継ポンプ場沈砂池平面図
25 / 28	桶川中継ポンプ場 沈砂池脱臭設備
26 / 28	騒音・振動測定地点図
27 / 28	元荒川水循環センター 消化槽No.1ボイラ設備
28 / 28	元荒川水循環センター 消化槽設備平面図

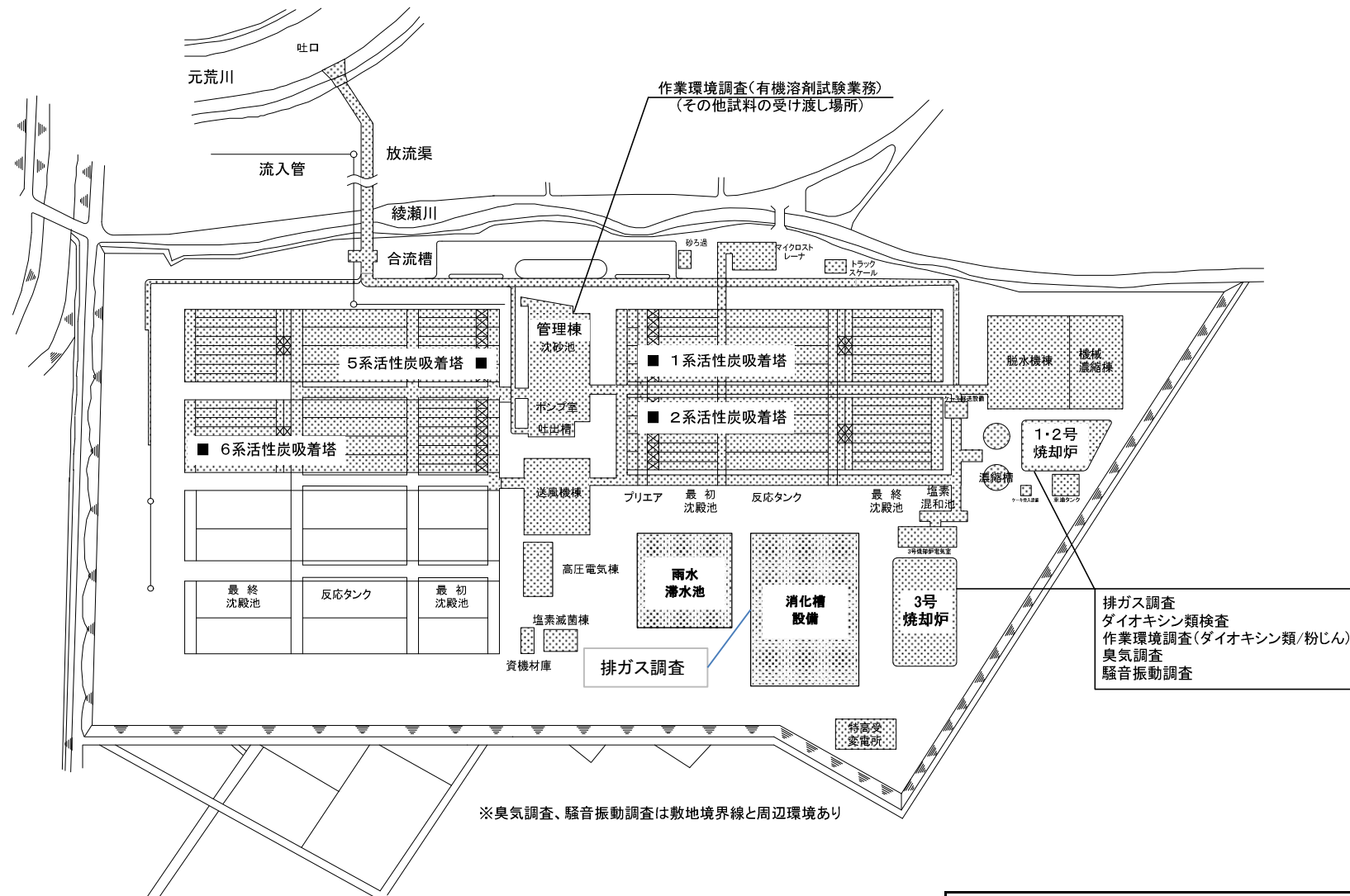


図 面 名	図面番号
元荒川水循環センター平面図	1 / 28



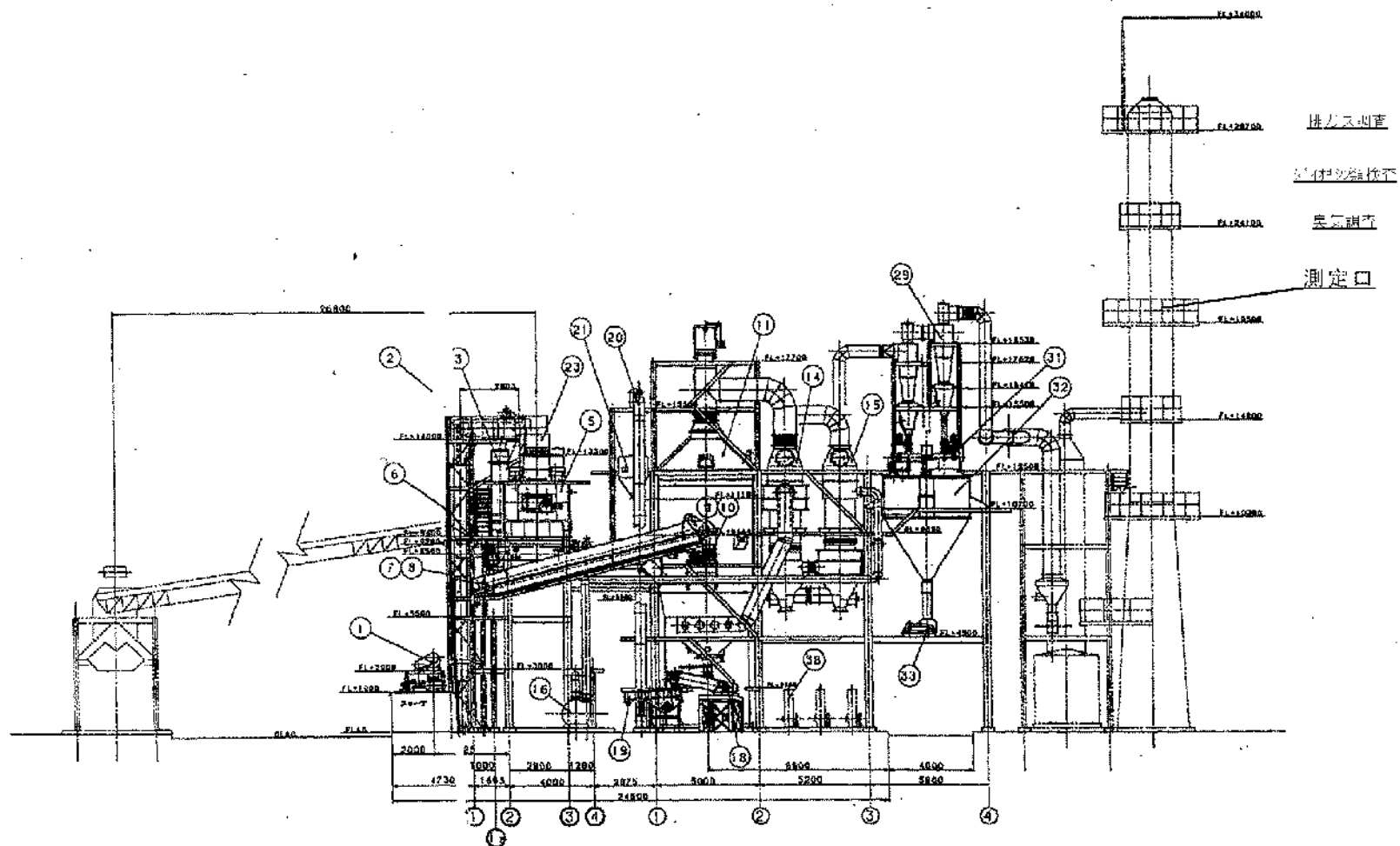
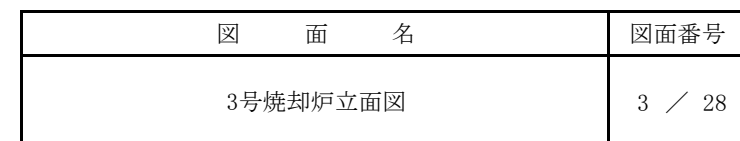


图 面 名	图面番号
1,2号烧却炉立面图	2 / 28



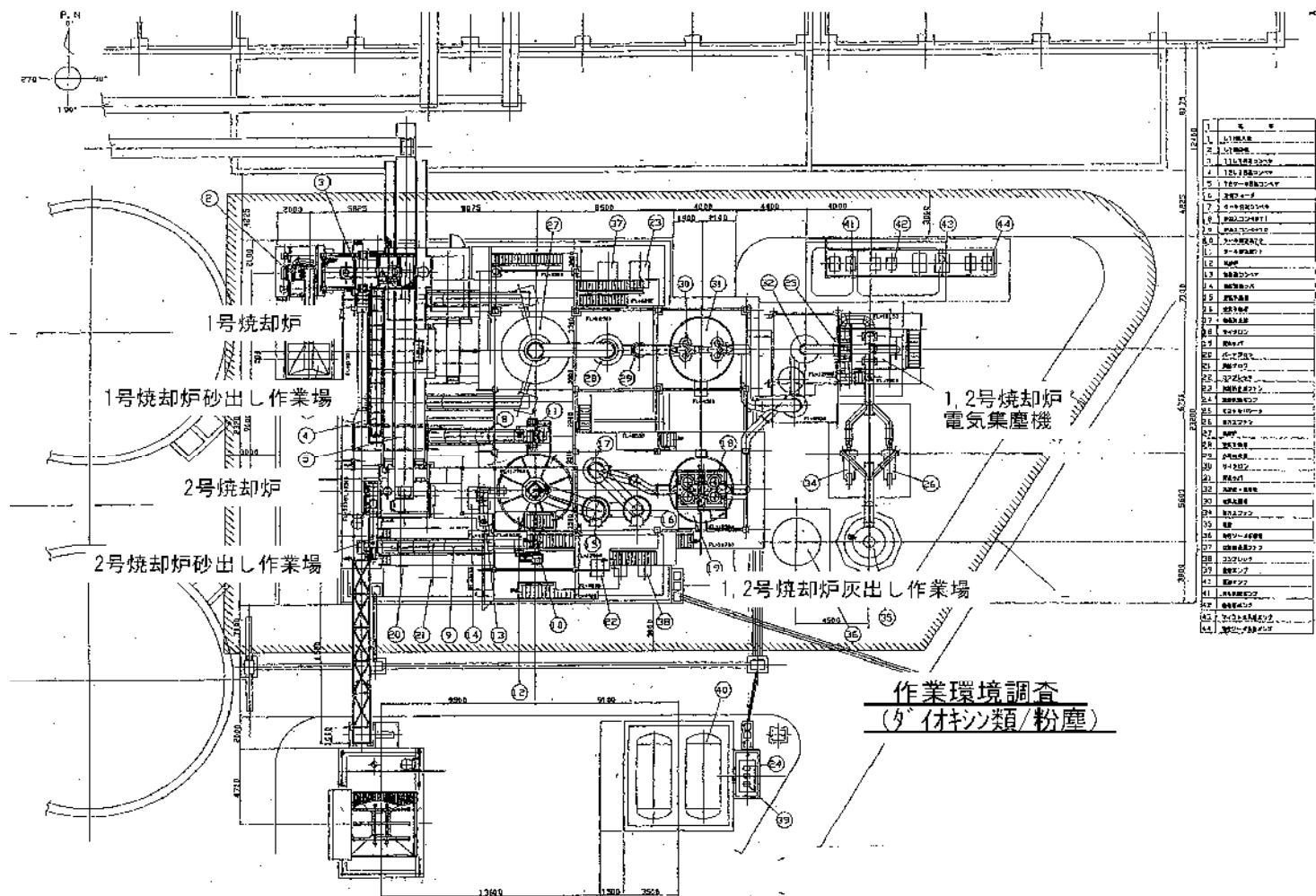
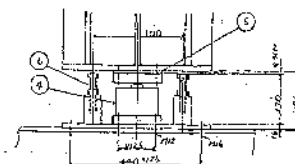
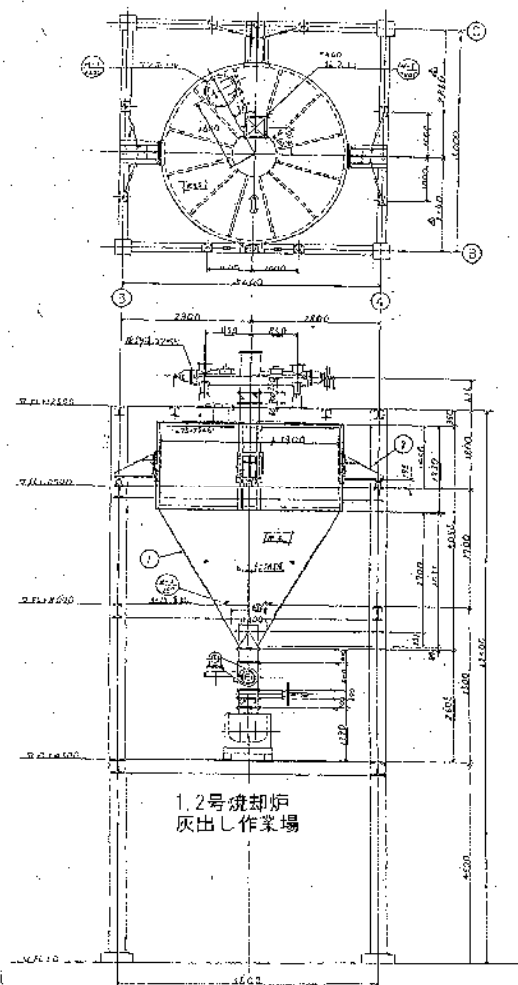
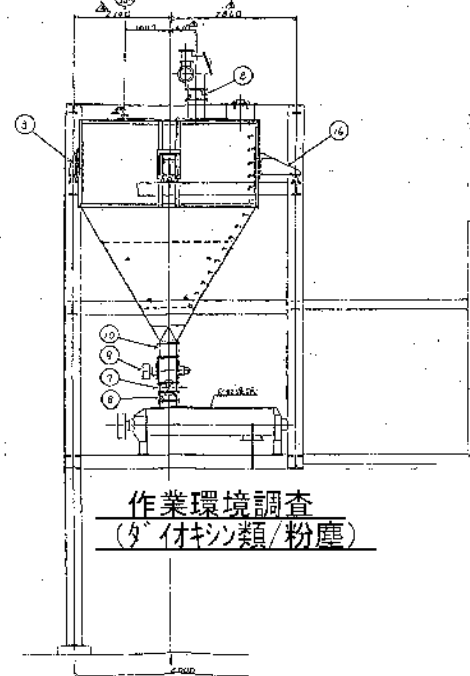


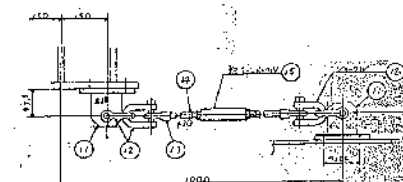
図 面 名	図面番号
1,2号焼却炉平面図	4 / 28



灰出し口詳細  
(4×4) 1/2



品名	数量	単位	備注
1. 灰出し口	1	個	
2. 灰出し口	1	個	
3. 灰出し口	1	個	
4. 灰出し口	1	個	
5. 灰出し口	1	個	
6. 灰出し口	1	個	
7. 灰出し口	1	個	
8. 灰出し口	1	個	
9. 灰出し口	1	個	
10. 灰出し口	1	個	
11. 灰出し口	1	個	
12. 灰出し口	1	個	
13. 灰出し口	1	個	
14. 灰出し口	1	個	
15. 灰出し口	1	個	
16. 灰出し口	1	個	
17. 灰出し口	1	個	
18. 灰出し口	1	個	
19. 灰出し口	1	個	
20. 灰出し口	1	個	



灰出し口詳細  
(4×4) 1/2

品名	数量	単位	備注
1. 灰出し口	1	個	
2. 灰出し口	1	個	
3. 灰出し口	1	個	
4. 灰出し口	1	個	
5. 灰出し口	1	個	
6. 灰出し口	1	個	
7. 灰出し口	1	個	
8. 灰出し口	1	個	
9. 灰出し口	1	個	
10. 灰出し口	1	個	
11. 灰出し口	1	個	
12. 灰出し口	1	個	
13. 灰出し口	1	個	
14. 灰出し口	1	個	
15. 灰出し口	1	個	
16. 灰出し口	1	個	
17. 灰出し口	1	個	
18. 灰出し口	1	個	
19. 灰出し口	1	個	
20. 灰出し口	1	個	

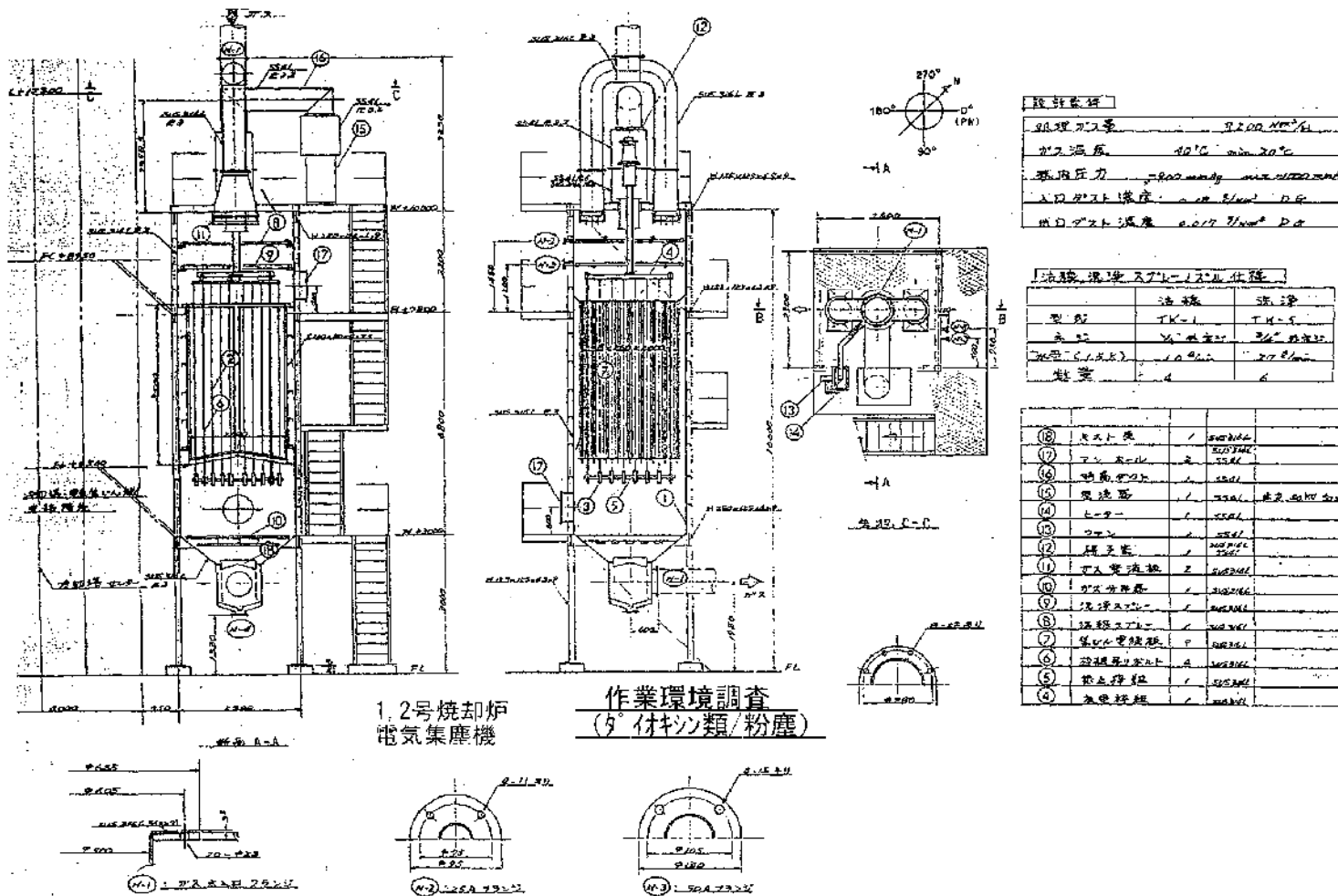
品名	数量	単位	備注
1. 灰出し口	1	個	
2. 灰出し口	1	個	
3. 灰出し口	1	個	
4. 灰出し口	1	個	
5. 灰出し口	1	個	
6. 灰出し口	1	個	
7. 灰出し口	1	個	
8. 灰出し口	1	個	
9. 灰出し口	1	個	
10. 灰出し口	1	個	
11. 灰出し口	1	個	
12. 灰出し口	1	個	
13. 灰出し口	1	個	
14. 灰出し口	1	個	
15. 灰出し口	1	個	
16. 灰出し口	1	個	
17. 灰出し口	1	個	
18. 灰出し口	1	個	
19. 灰出し口	1	個	
20. 灰出し口	1	個	

図 面 名

図面番号

1,2号焼却炉灰ホップ外形図

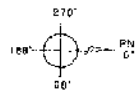
5 / 28



設計条件	
処理ガス量	9200 Nm <sup>3</sup> /h
ガス温度	120°C min 20°C
集塵圧力	-800 mmHg min 1500 mmHg
入口ガス速度	0.02 8/min D.G.
出口ガス温度	0.017 8/min D.G.

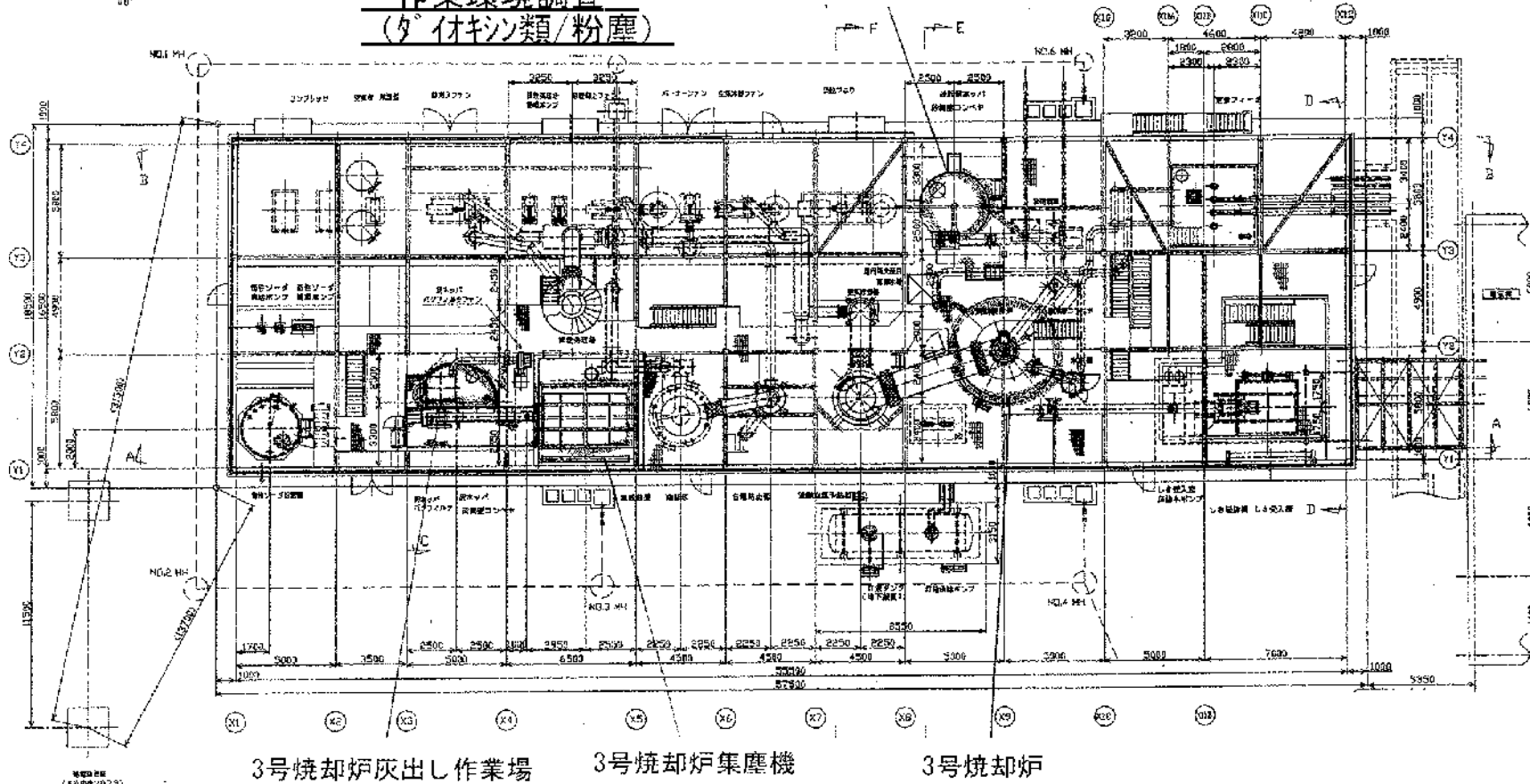
油圧・電圧・空気・ガス・水・その他		
油圧	油圧	油圧
電圧	電圧	電圧
空気	空気	空気
ガス	ガス	ガス
水	水	水
その他	その他	その他

部品番号	部品名	数量	単位
1	モーター	1	台
2	ファン	2	台
3	電動機	1	台
4	電動機	1	台
5	電動機	1	台
6	電動機	1	台
7	電動機	1	台
8	電動機	1	台
9	電動機	1	台
10	電動機	1	台
11	電動機	1	台
12	電動機	1	台
13	電動機	1	台
14	電動機	1	台
15	電動機	1	台



# 作業環境調査 (ダスト・粉塵)

3号焼却炉砂出し作業場



図面名	図面番号
3号焼却炉平面図	7 / 28

作業環境調査  
(タバコシニ類/粉塵)

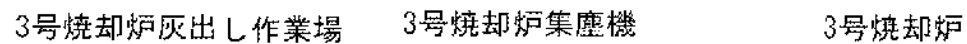


図 面 名	図面番号
3号焼却炉外形図	8 / 28

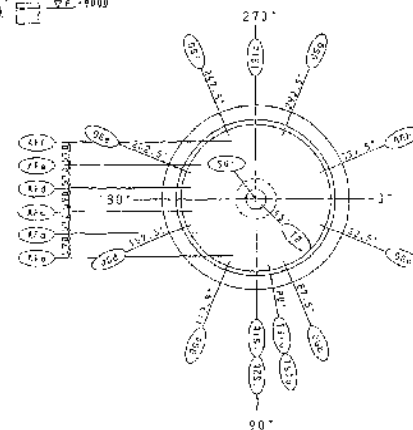
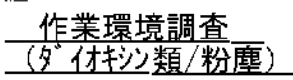
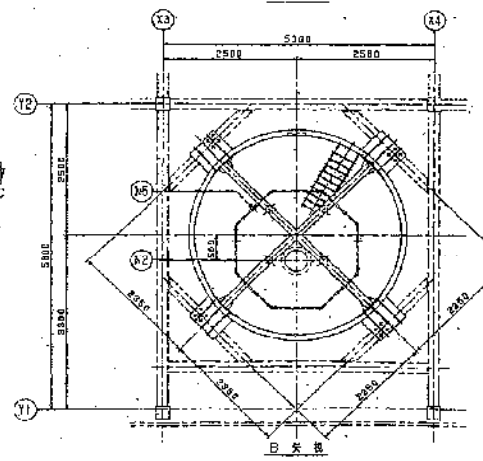
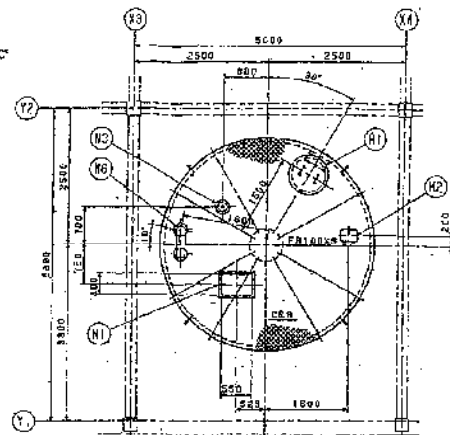
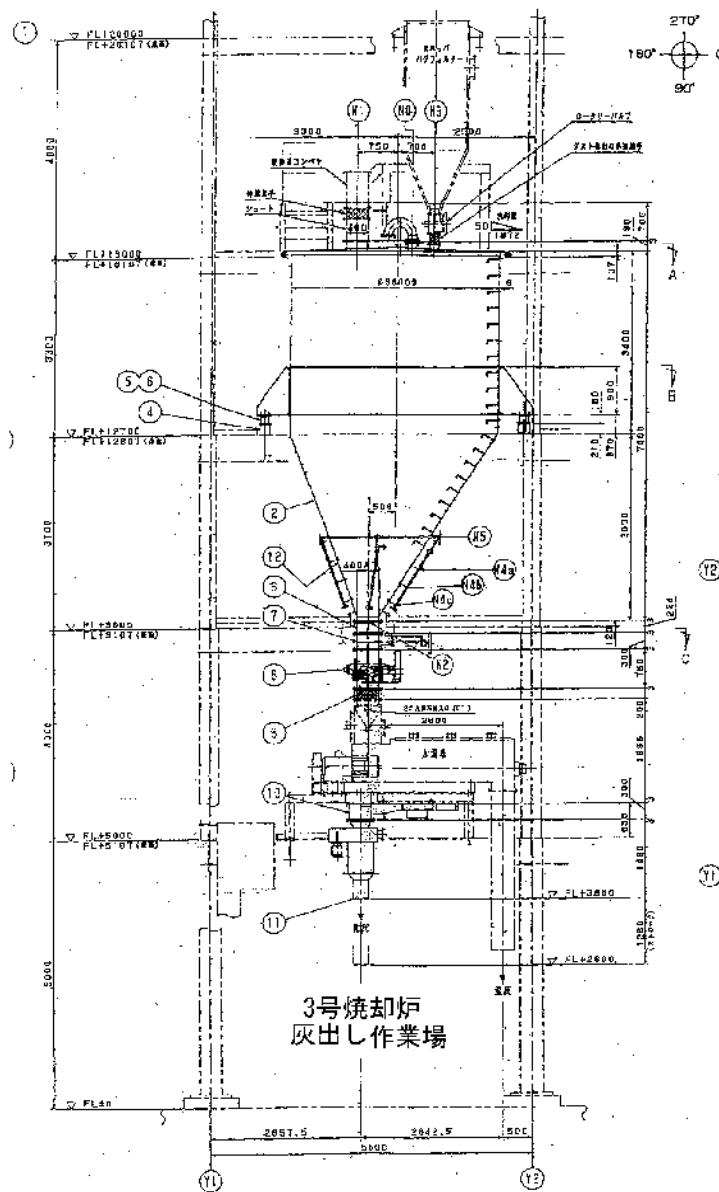


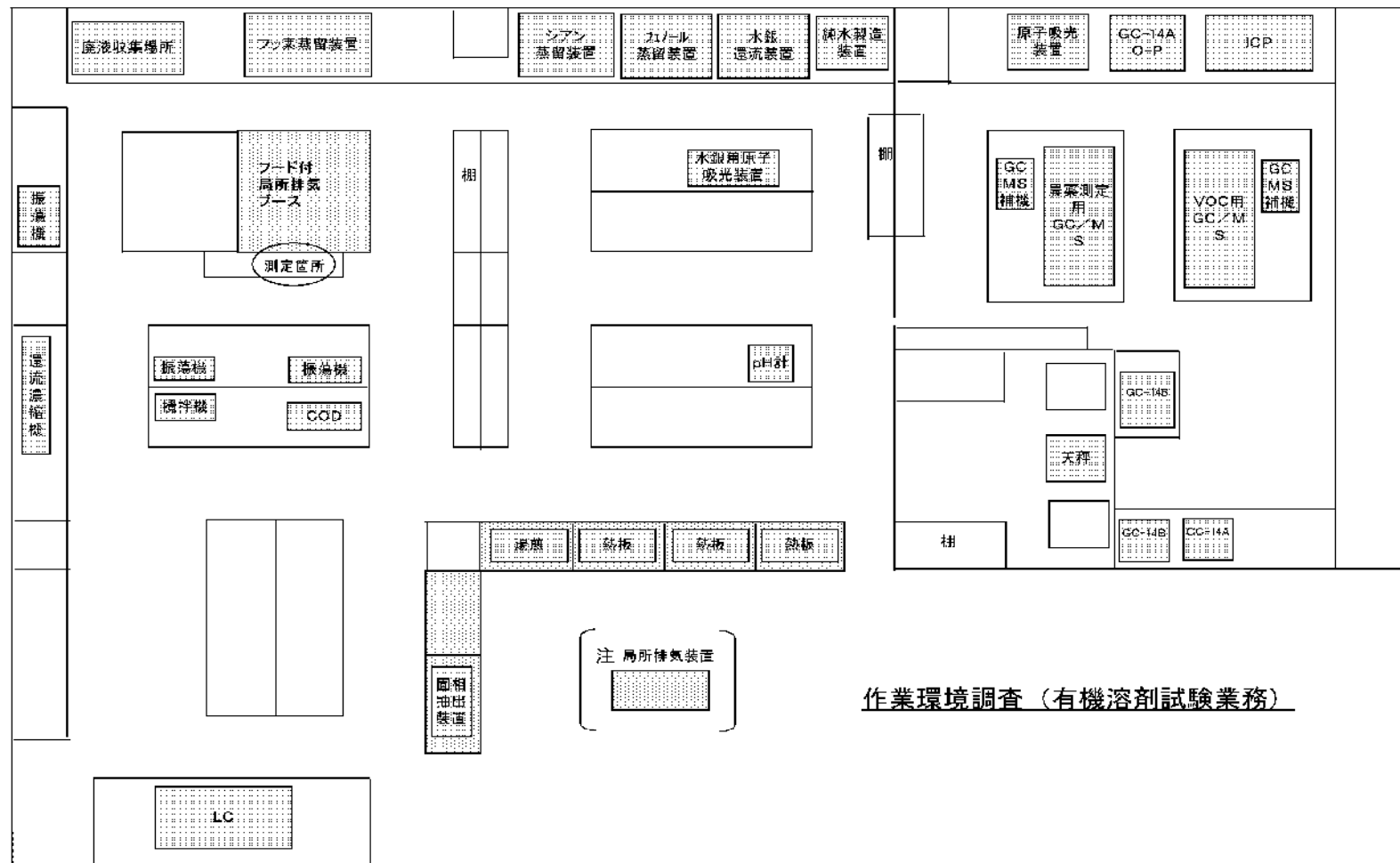
図 面 名	図面番号
3号焼却炉断面図	9 / 28





マテリアル					
品名	数量	単位	材質	仕様	備考
N1	250x100	mm	SS304	1	—
N2	400A	mm	SS304	1	—
N3	150A	mm	SS304	1	—
N4	250x100	mm	SS304	2	—
N5	250x100	mm	SS304	1	—
N6	150A	mm	SS304	1	—
N7	250x100	mm	SS304	1	—
N8	250x100	mm	SS304	1	—
N9	250x100	mm	SS304	1	—
N10	250x100	mm	SS304	1	—
N11	250x100	mm	SS304	1	—
N12	250x100	mm	SS304	1	—

図面名	図面番号
3号焼却炉灰ホッパ外形図	10 / 28



作業環境調査（有機溶剤試験業務）

図 面 名	図面番号
管理本館2階 理化学試験室概略図	11 / 28

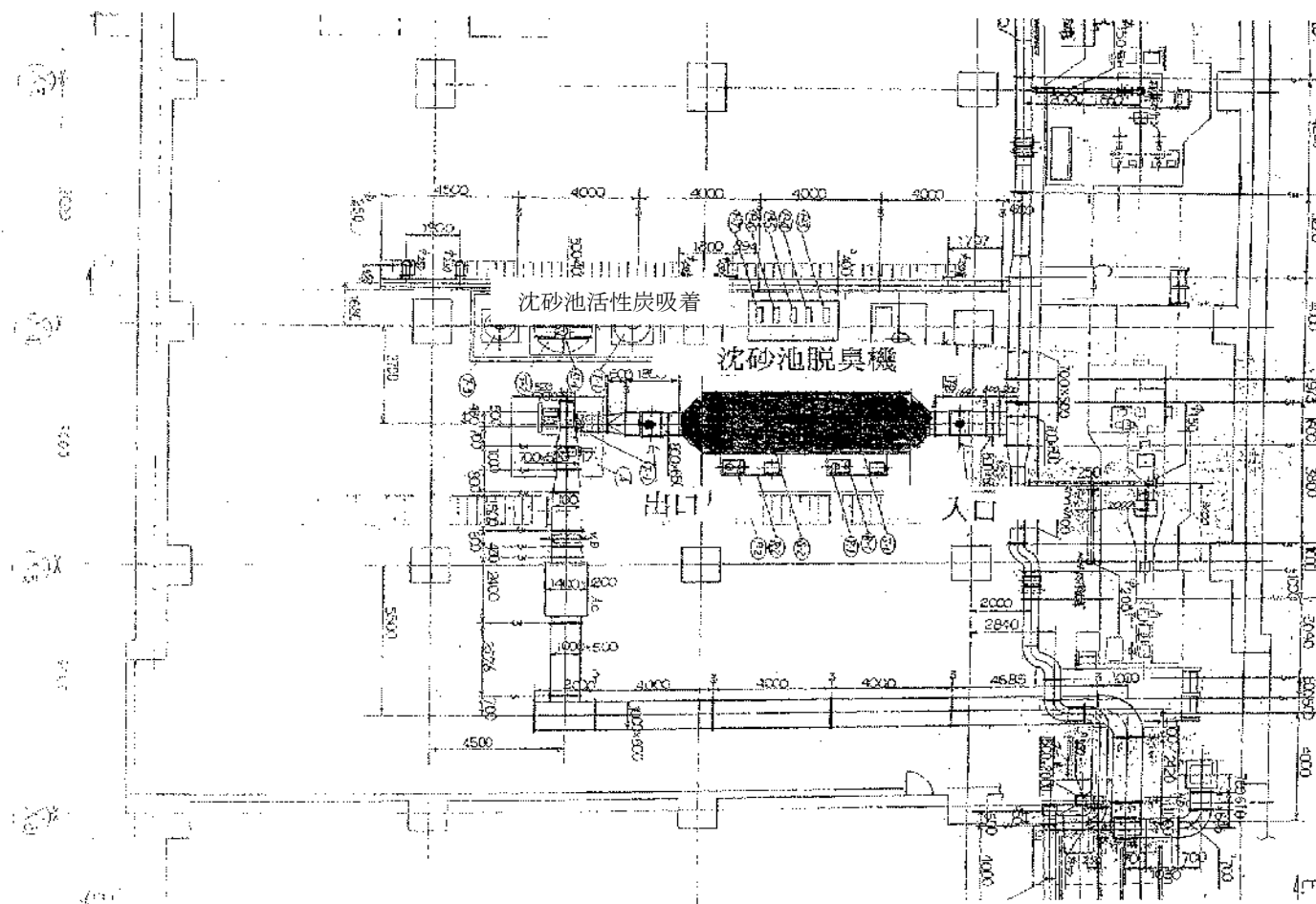


図 面 名	図面番号
元荒川水循環センター 沈砂池活性炭脱臭設備	12 / 28

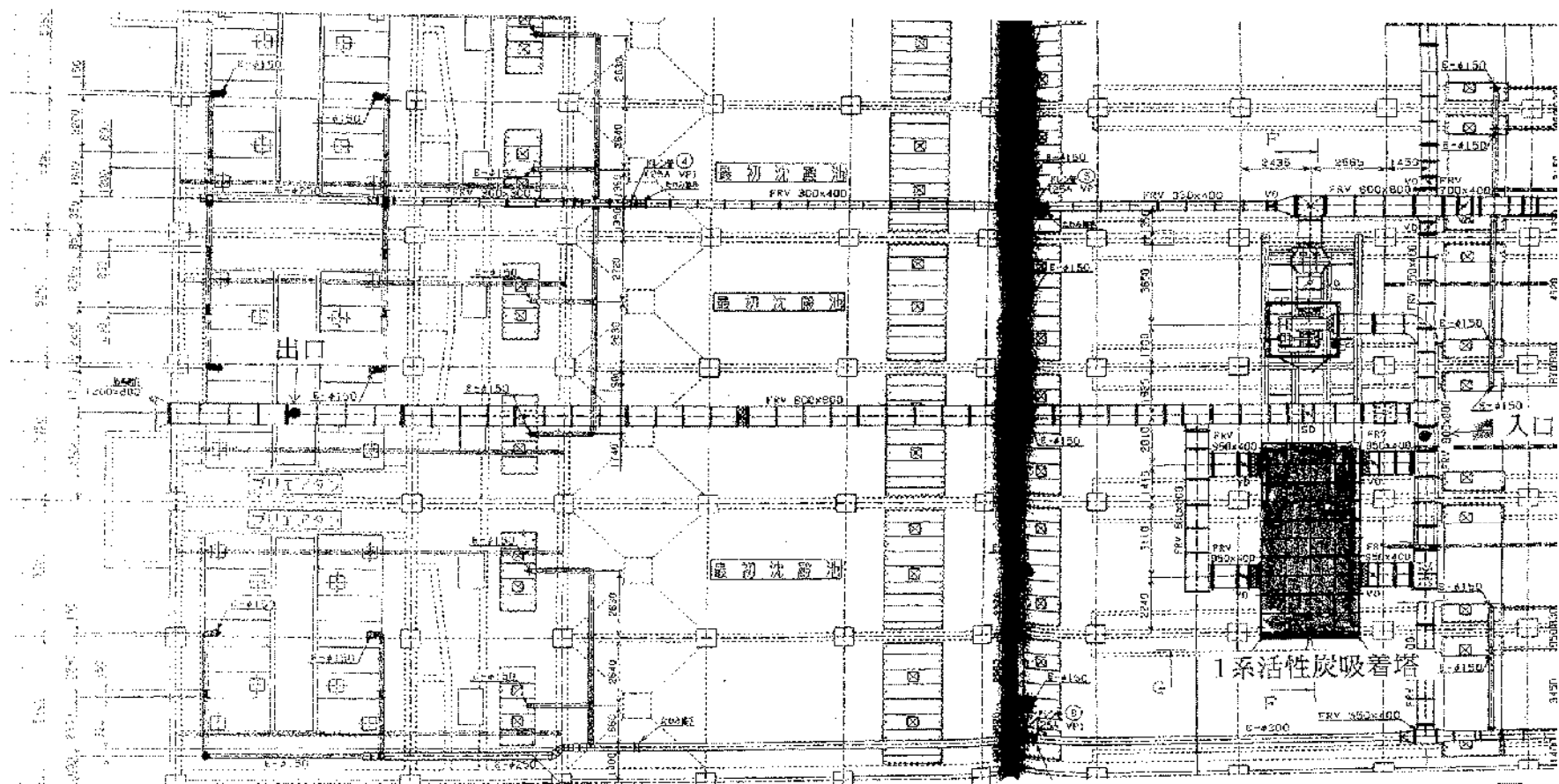


図 面 名	図面番号
元荒川水循環センター 1系水処理脱臭設備	13 / 28

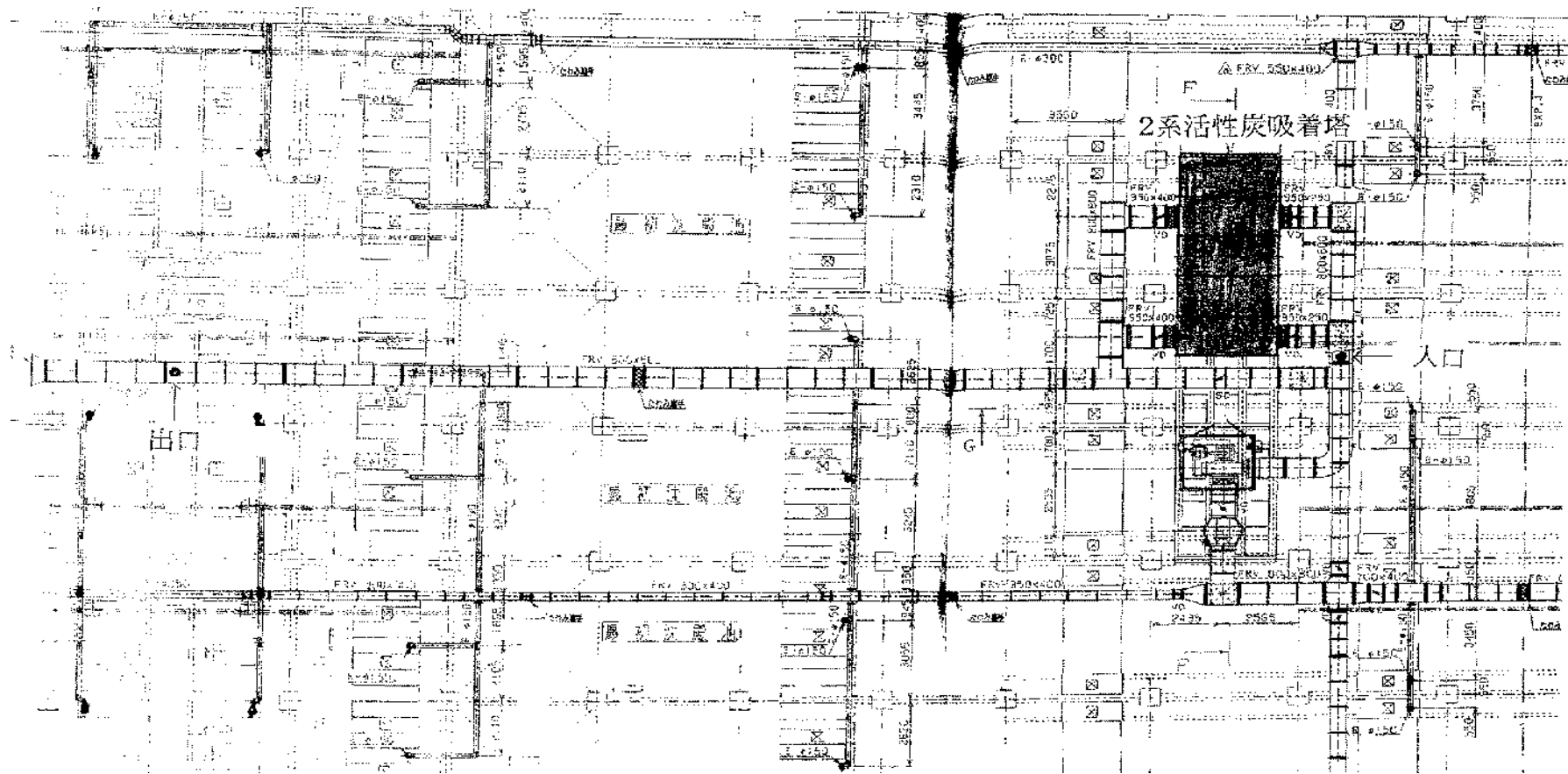


図 面 名	図面番号
元荒川水循環センター 2系水処理脱臭設備	14 / 28

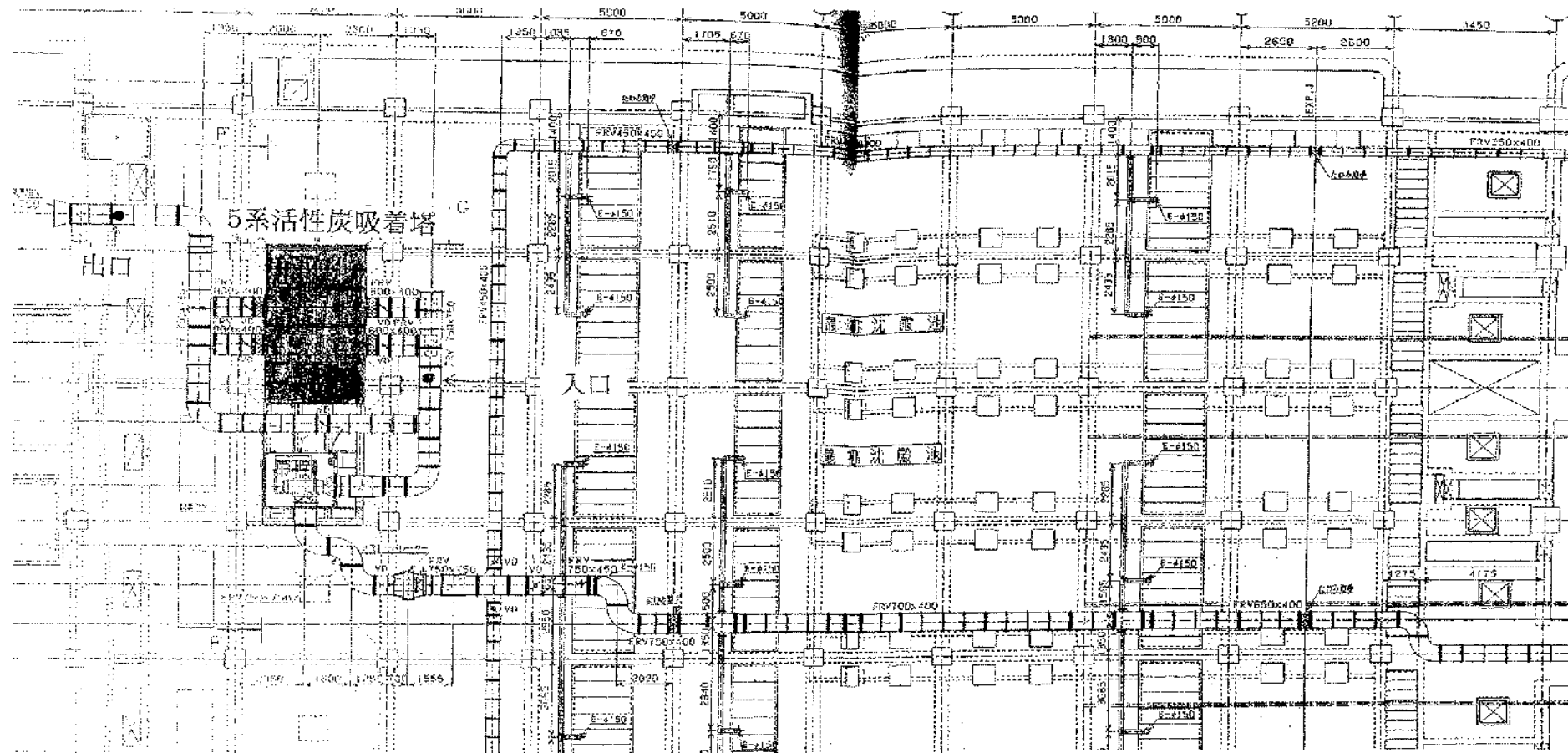


図 面 名	図面番号
元荒川水循環センター 5系水処理脱臭設備	15 / 28

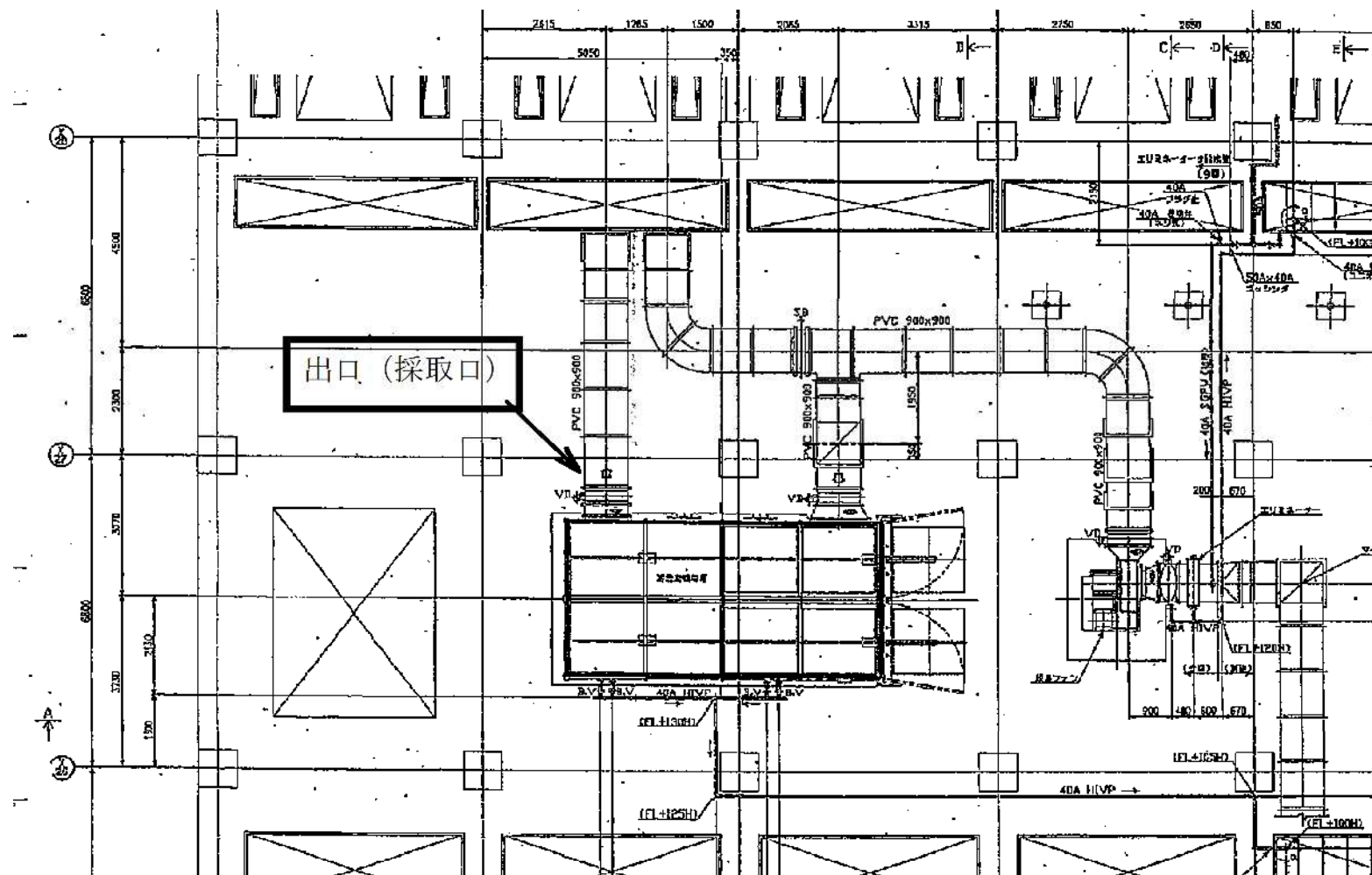


図 面 名	図面番号
元荒川水循環センター 6系水処理脱臭設備	16 / 28

# 雨水滞水池

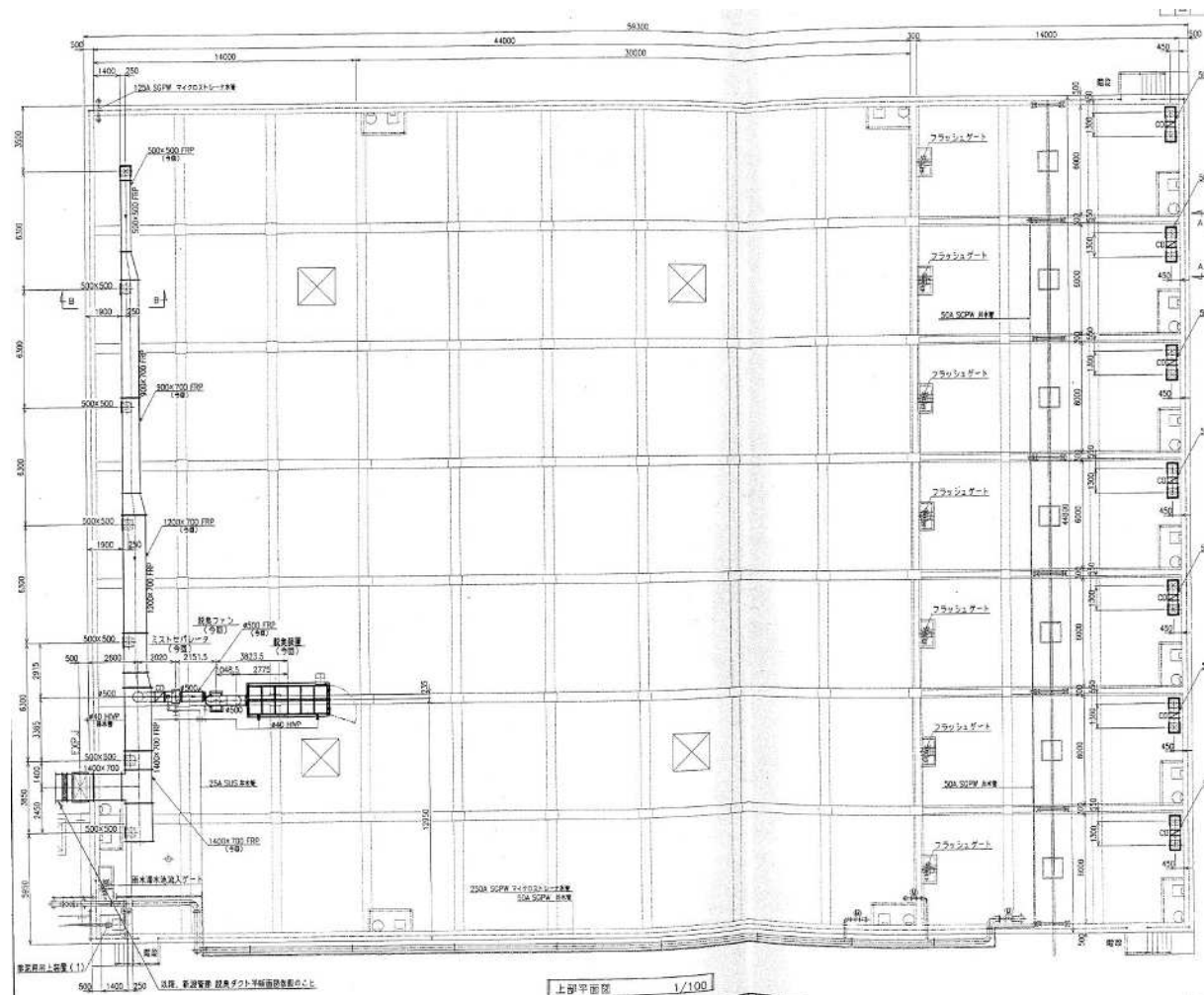


図 面 名	図面番号
元荒川水循環センター 雨水滞水池平面図	17 / 28



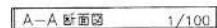


図 面 名	図面番号
元荒川水循環センター 雨水滞水池脱臭設備	18 / 28

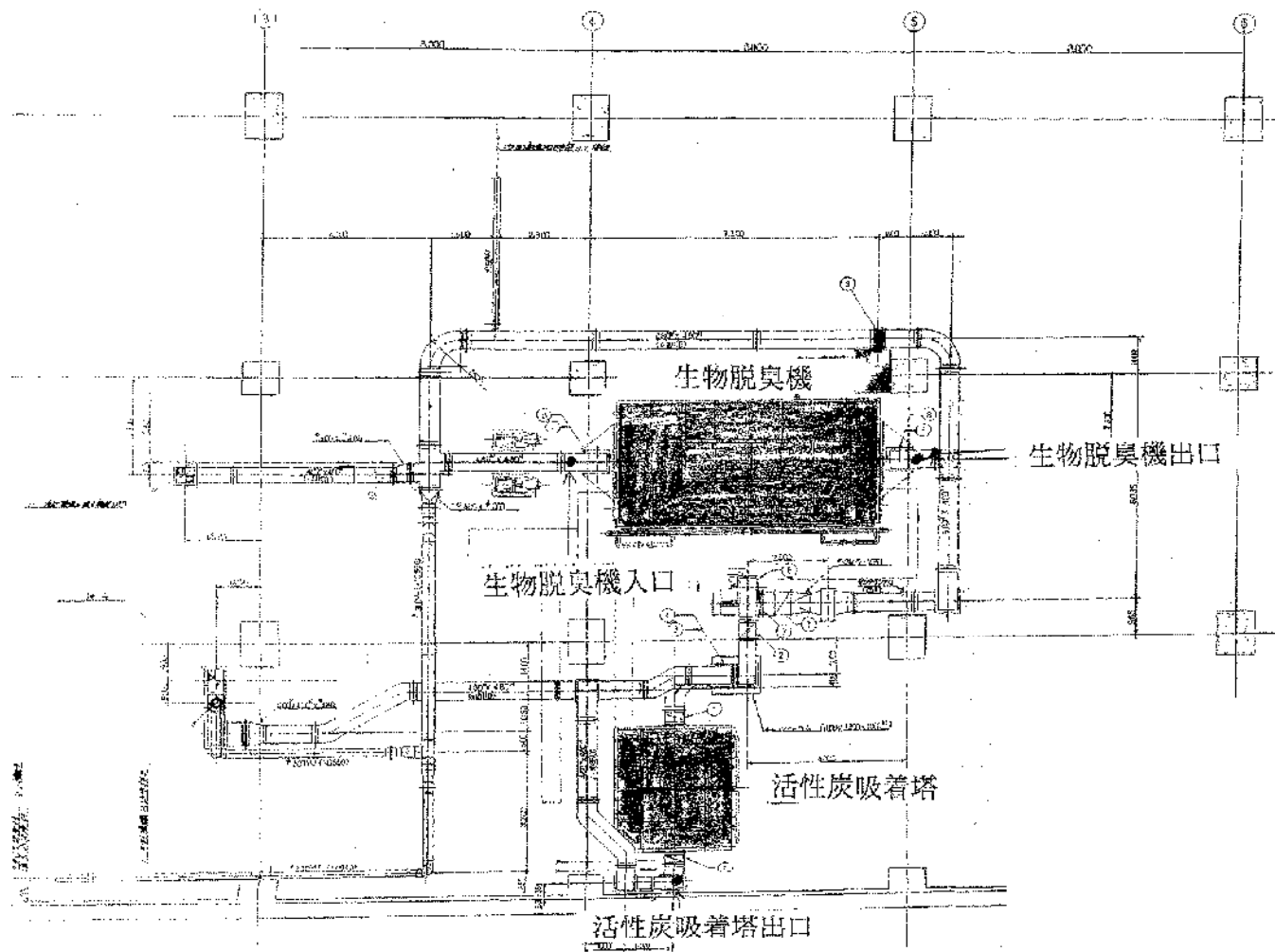


図 面 名	図面番号
元荒川水循環センター 汚泥棟脱臭設備	19 / 28

【鴻巣中継ポンプ場】  
埼玉県 鴻巣市上谷1879-1

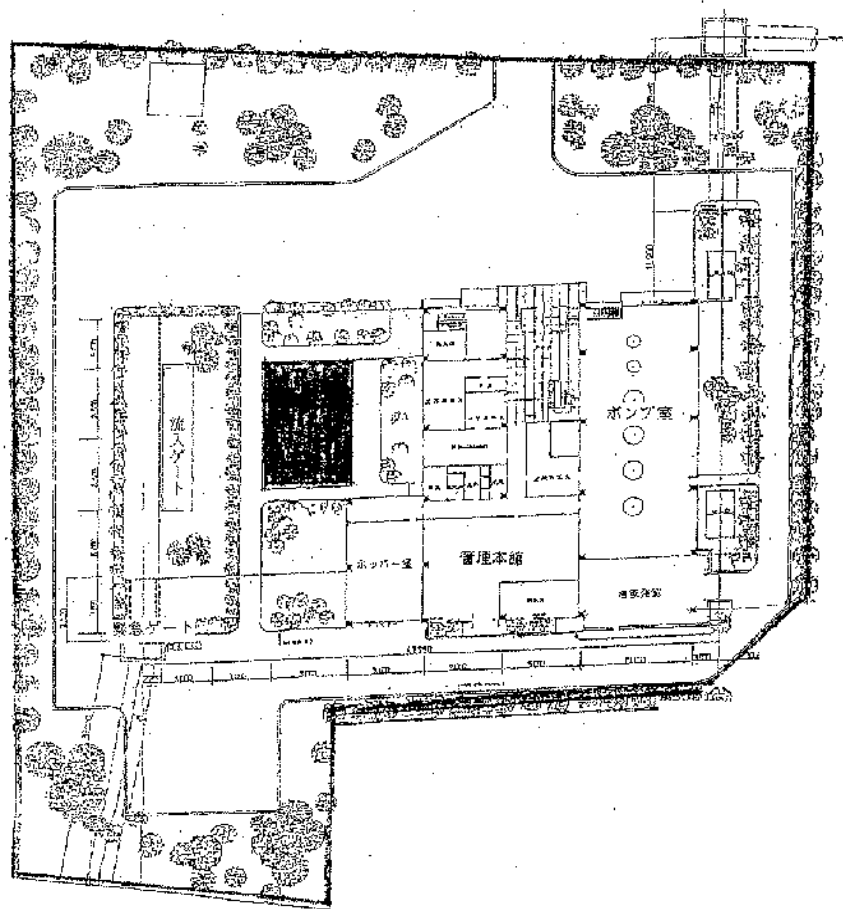


図 面 名	図面番号
鴻巣中継ポンプ場平面図	20 / 28

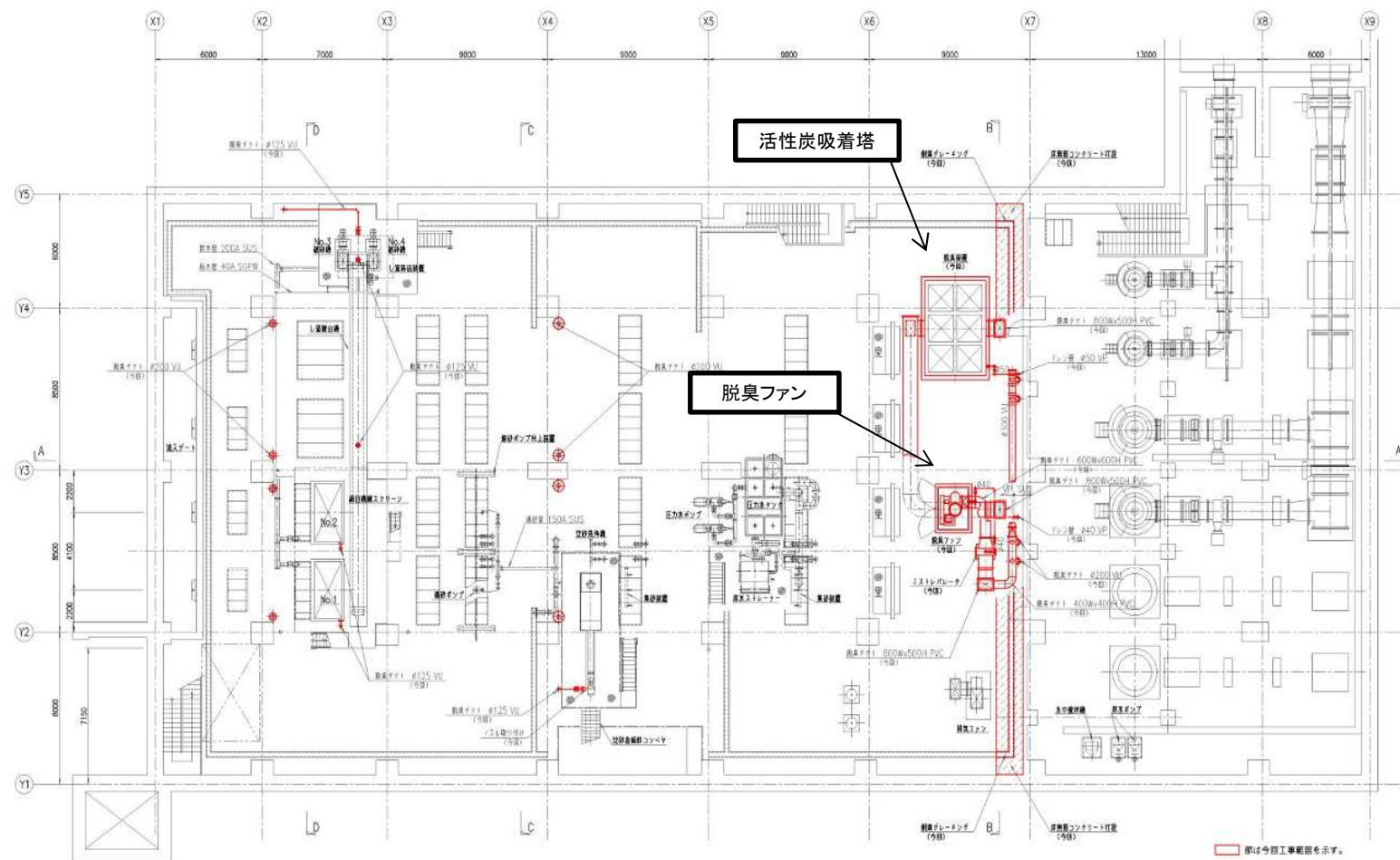
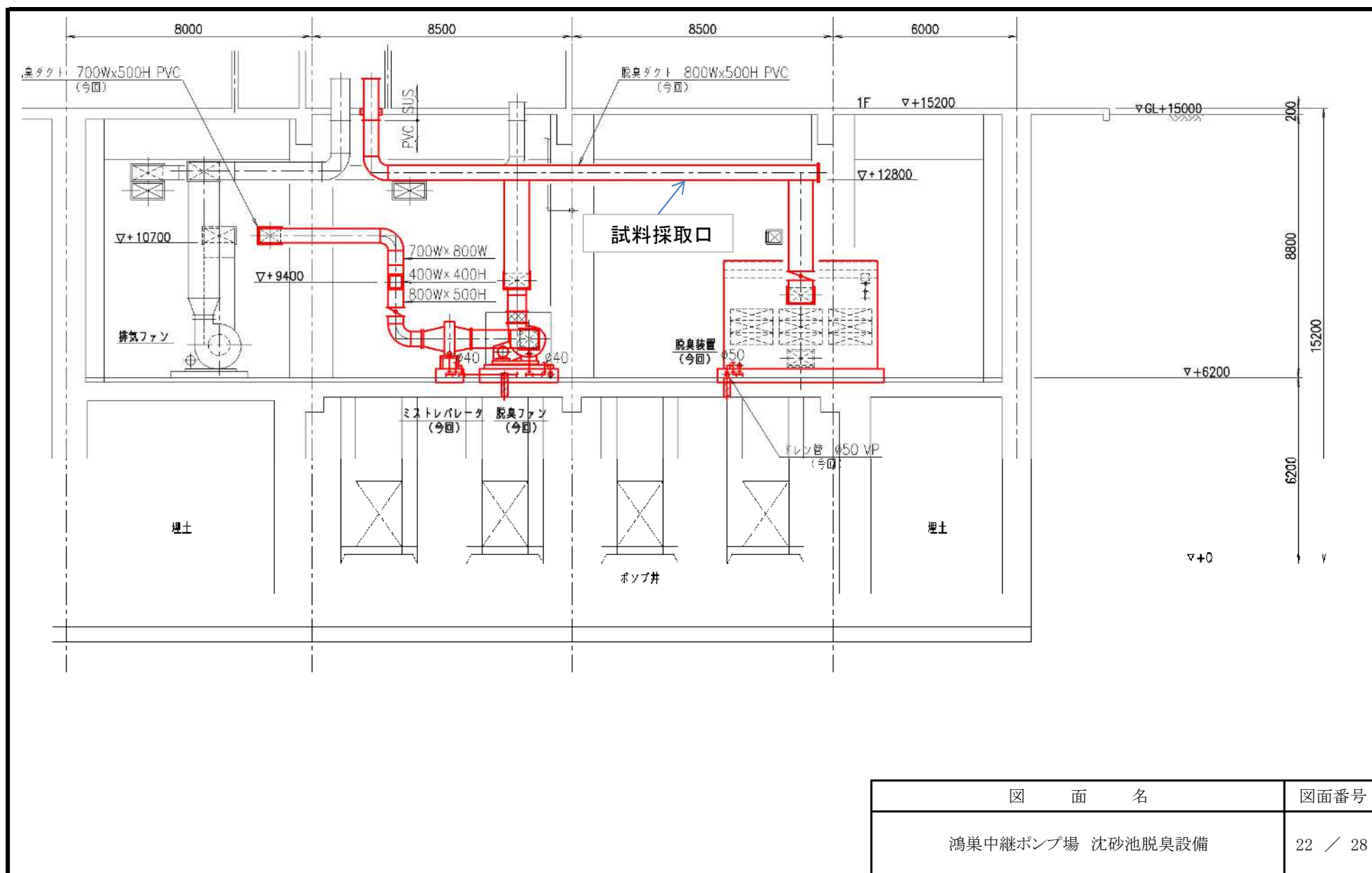


図 面 名	図面番号
鴻巣中継ポンプ場沈砂池平面図	21 / 28



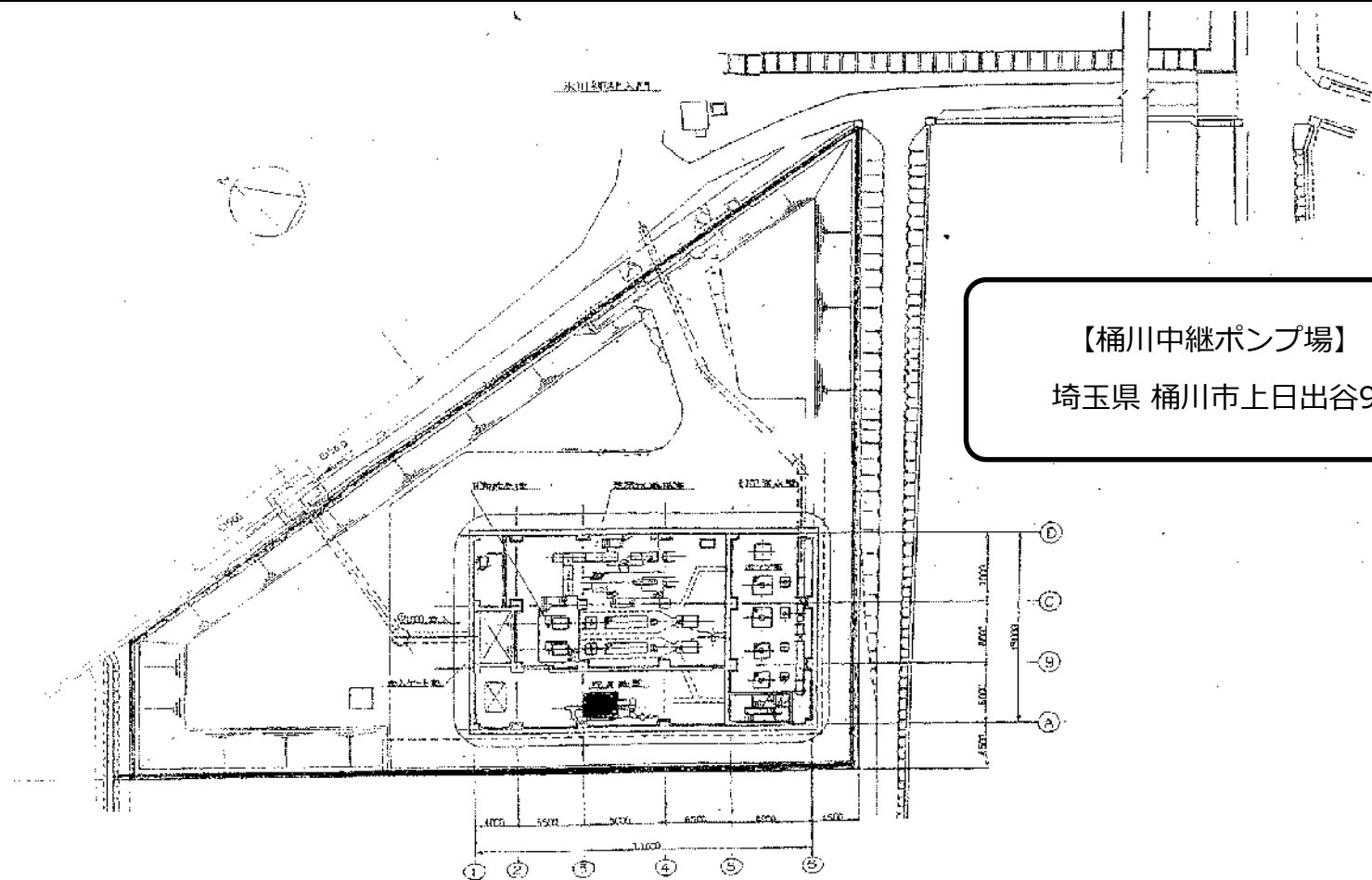


図 面 名	図面番号
桶川中継ポンプ場平面図	23 / 28

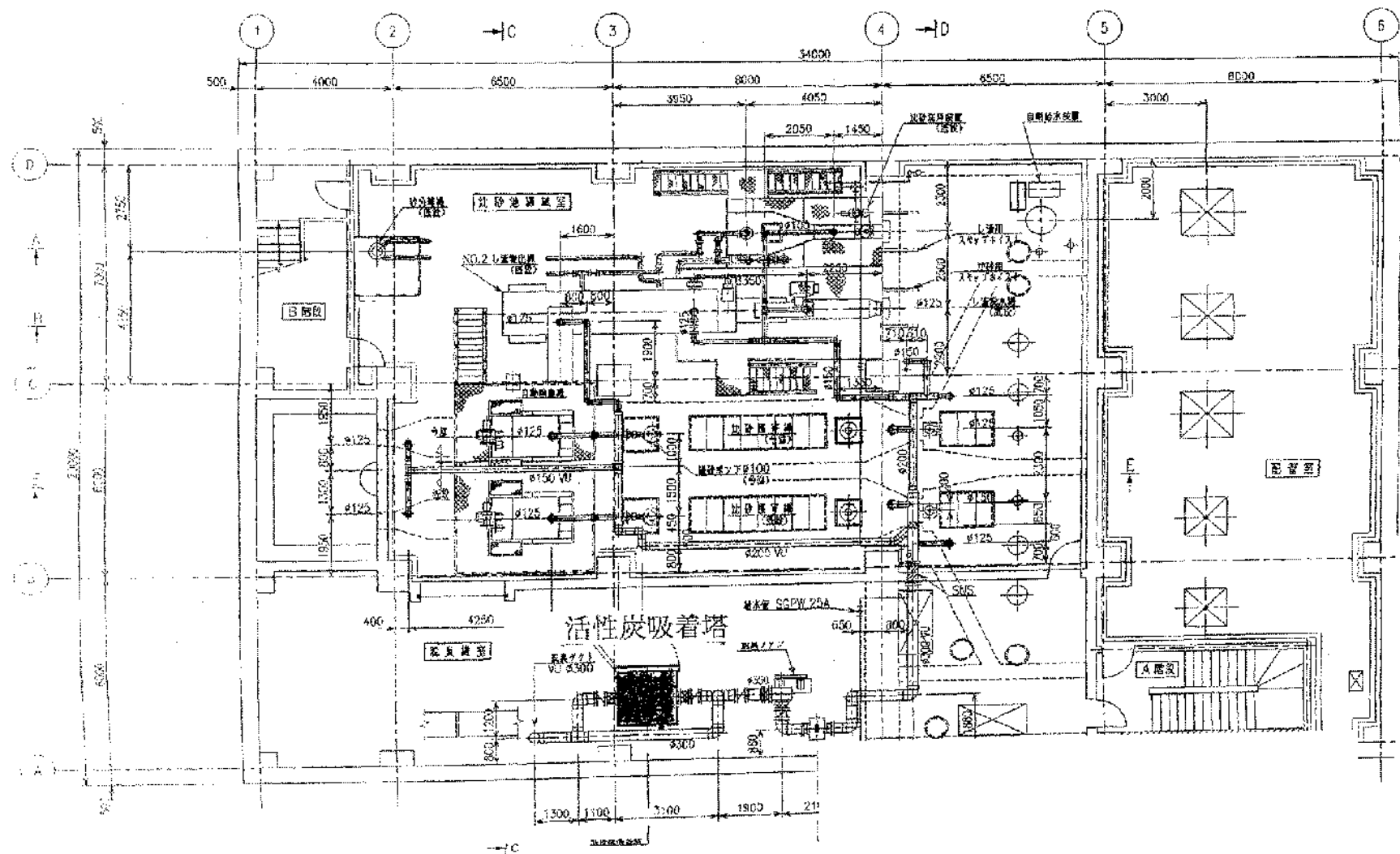
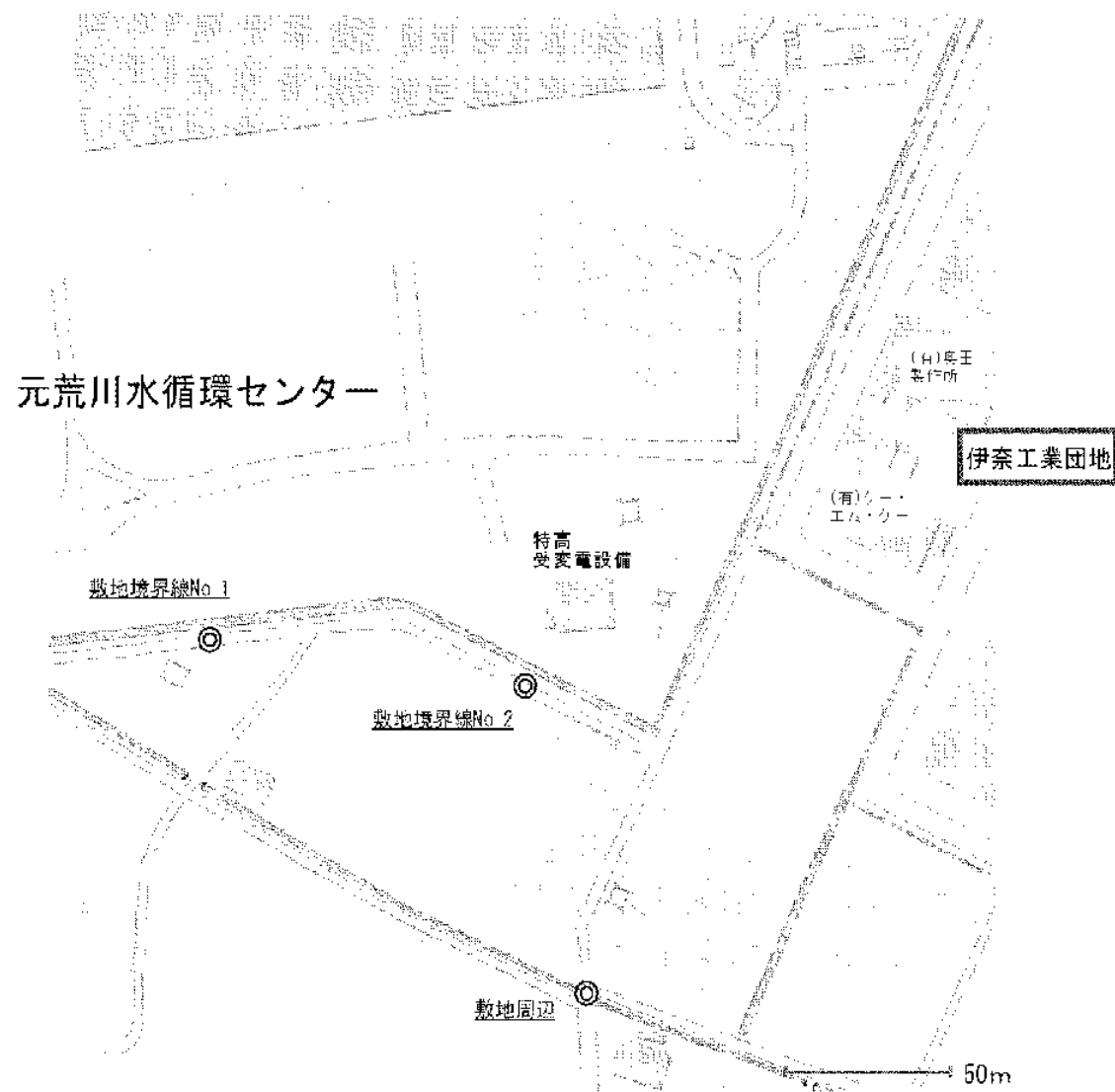


図 面 名	図面番号
桶川中継ポンプ場沈砂池平面図	24 / 28







図面名	図面番号
騒音・振動測定地点図	26 / 28



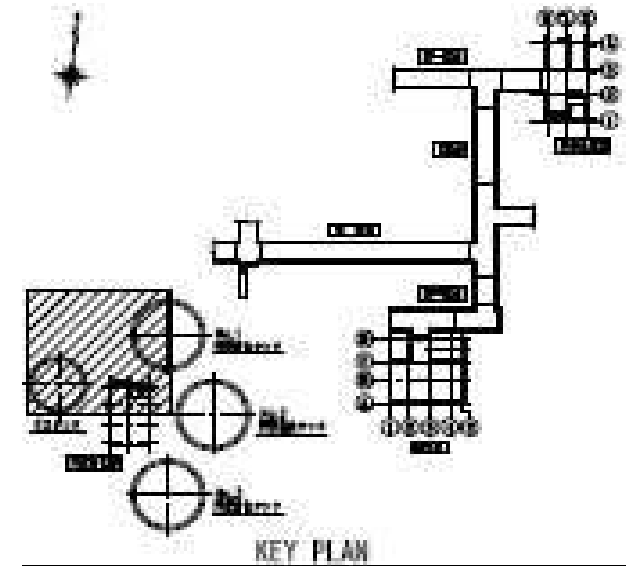
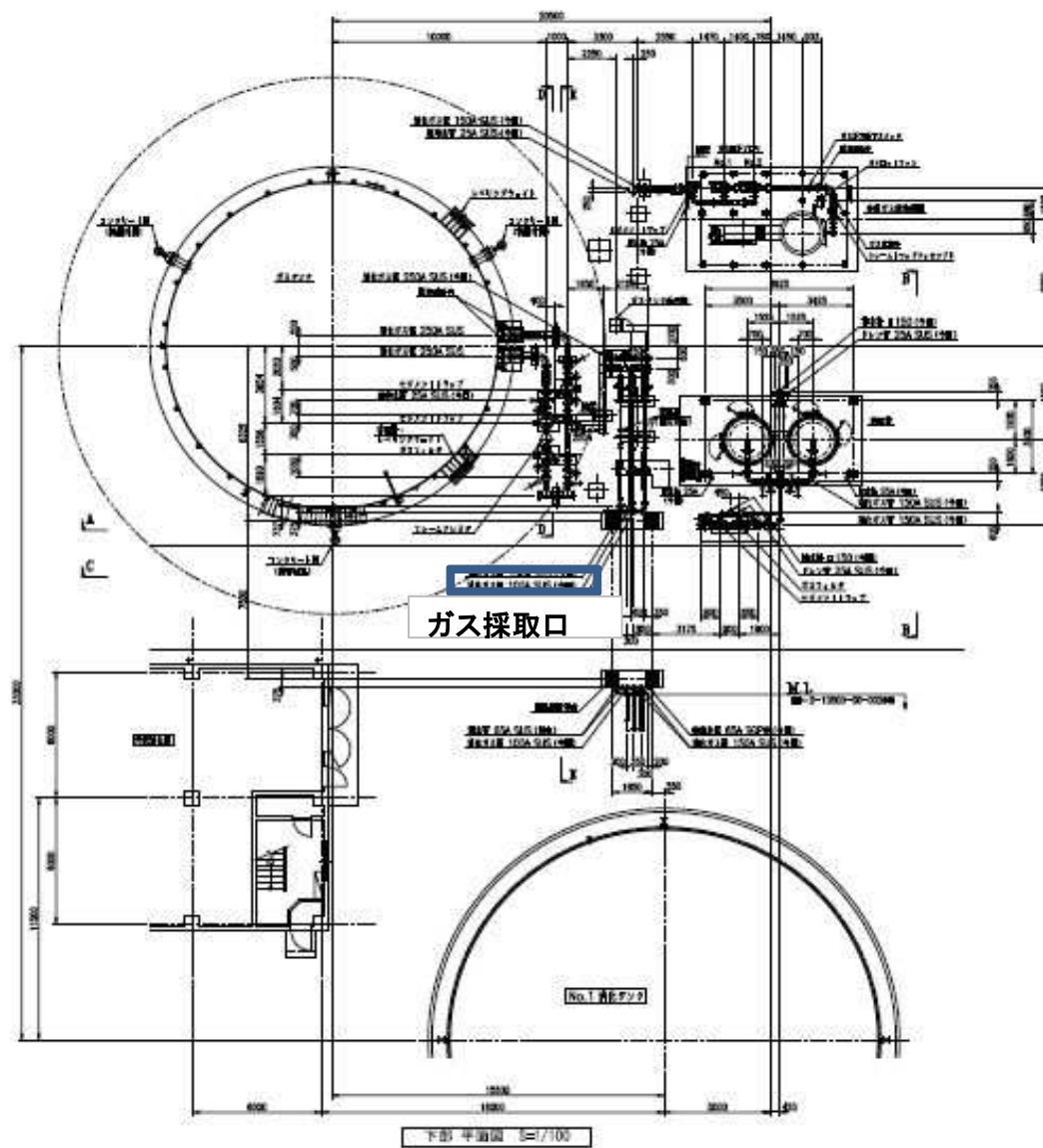


図 面 名	図面番号
元荒川水循環センター 消化槽設備平面図	28 / 28